

令和 7 年度 学 校 要 覧



和歌山県立紀北支援学校

<本校>

〒640-0332 和歌山市冬野227
TEL (073) 479-1356
FAX (073) 479-2677

<愛徳分教室>

〒641-0044 和歌山市今福3丁目5番41号
TEL・FAX (073) 423-8441

<寄宿舍>

〒640-8272 和歌山市砂山南3丁目1番73号
(和歌山ろう学校寄宿舍内)
TEL・FAX (073) 424-3370

学校ホームページ

<https://www.kihoku-sh.wakayama-c.ed.jp/>

紀北支援学校校歌

中筋 宏 作詞
北原雄一 作曲

明るく力強く、行進曲のように

なミさ ーざ がドな れりみ つアよ きフー せしせ ーぬる きトわ のラか かの わスう のノら

きなき ーガよ よしら ーな しクき ぶー きモし をノベ みカと にゲも あキと びヨし てして

たタた ゆユゆ まマま ぬヌぬ どキま りタな くエび カイひ さソと ねシす つミじ つテに つツつ よヨく やアた さカだ しルく くクく そソそ だダだ ちチち ゆユゆ くクく

きヨほ ぼロこ うコリ にビも みアた ちツか てしく あアあ ゆユゆ むムむ にニに わワわ あアあ わワわ れレれ らラら がガが

ぼボぼ こココ うウウ きキき ほホほ くクく しシし えエえ んンん がガが つツつ こココウ

一、
流れ尽きせぬ 紀の川の
清きしぶきを 身にあびて
たゆまぬ努力 かさねつつ
強くやさしく 育ちゆく
希望にみちて 歩む庭
ああ われらが母校
紀北支援学校

二、
みどりあふれる 虎伏の
流れる雲の かげ清し
たゆまぬきたえ いそしみて
強く明るく 育ちゆく
よろこびあふれ 歩む庭
ああ われらが母校
紀北支援学校

三、
さざ波よせる 和歌の浦
清らかな岸辺 友として
たゆまぬ学び ひとすじに
強く正しく 育ちゆく
誇りも高く 歩む庭
ああ われらが母校
紀北支援学校



校 章

目 次

1	沿 革 概 要	1
2	教育方針・目標	4
3	設 置 課 程	4
4	職員・児童生徒数	5
5	教 育 課 程 表	7
6	各学部の教育	
	（1）学部教育目標	1 1
	（2）各学部の日課表	1 3
	（3）訪問教育	1 8
	（4）課外クラブ	1 8
7	年間行事予定表	1 9
8	寄 宿 舎	2 1
9	人権教育方針	2 2
10	交流教育（交流及び共同学習）方針	2 3
11	人権教育 全体計画	2 7
12	道德教育 全体計画	2 9
13	総合的な学習・探求の時間 全体計画	2 9
14	特別活動 全体計画	3 0
15	キャリア教育 全体計画	3 1
16	進 路 指 導	3 2
17	教 育 支 援	3 5
18	安 全 教 育	3 7
19	防 災 計 画	3 8
20	校務分掌及び各種委員会等	3 9
21	スクールバス運行経路	4 0
22	学 校 環 境	4 2

1 沿革概要

昭和47年 9月 6日	起工式
昭和48年 3月30日	昭和48年和歌山県条例第16号により和歌山県立紀北養護学校が設置され、昭和48年4月1日から施行
昭和48年 3月31日	第1期工事竣工（管理棟、小学部棟、中学部棟、寄宿舎）
昭和48年 4月 1日	初代校長 中筋 宏 就任 職員45名をもって編成
昭和48年 5月 7日	入学式を挙行（小学部60名、中学部17名、計77名 入学を許可）
昭和48年 6月26日	開校式を挙行
昭和49年 3月23日	第1回小・中学部卒業式を挙行（小学部6名、中学部7名、計13名）
昭和49年 4月 1日	高等部設置
昭和49年 4月10日	第2期工事着工（高等部棟、寄宿舎増築）
昭和49年10月15日	校章制定（発表）
昭和49年12月25日	第2期工事竣工（高等部棟、寄宿舎増築）
昭和50年 4月 1日	和歌山市立有功小学校及び紀伊中学校有功ヶ丘分校（知的障害児のための特殊学級）が廃止され、和歌山県立紀北養護学校有功ヶ丘学園分校として発足
昭和51年 1月10日	スクールバス1台増車（計3台となる）
昭和51年 3月31日	第3期工事竣工（作業訓練室3、高等部普通教室4）
昭和51年 4月 3日	文部省特殊教育教育課程研究指定を受ける
昭和51年11月10日	第4期工事着工（屋内体育館並びに機能訓練室）
昭和52年 3月12日	第1回高等部卒業式を挙行（男子6名、女子7名、計13名）
昭和52年 5月26日	第4期工事竣工（屋内体育館並びに機能訓練室）
昭和52年12月 9日	昭和51年・52年度文部省指定特殊教育教育課程研究発表会を開催
昭和53年 5月15日	第5期工事竣工（水泳プール、車庫増築、スロープ階段の屋根取付）
昭和53年10月26日	校歌制定
昭和53年11月14日	本校施設、設備落成並びに5周年記念式典を挙行
昭和54年 4月 1日	養護学校教育義務制の施行
昭和54年 4月12日	義務制発足に伴い訪問教育を開始
昭和54年 8月 1日	第6期工事竣工（重複4教室、普通4教室）
昭和54年11月26日	分校・特別教室竣工（軽量鉄骨造り）
昭和55年 4月28日	スクールバス1台増車（計4台となる）
昭和55年 5月10日	校舎東側渡り廊下竣工
昭和57年 3月 1日	訪問教育“岩出療育園教室棟”竣工
昭和57年 3月31日	窯業棟竣工、重複教室棟便所増設、スクールバス車庫増設、屋外倉庫完成、バックネット1基完成
昭和57年 9月24日	舗装工事、運動場整備工事完成
昭和58年 2月26日	創立10周年記念式典を挙行
昭和58年 3月26日	寄宿舎増築（舎生休養室等）、スロープ階段下倉庫完成

昭和 58 年 4 月 1 日	第 2 代校長 林 宏明 就任
昭和 58 年 9 月 3 日	給食室増築工事完成
昭和 59 年 4 月 1 日	有功ヶ丘学園分校通学生の受け入れ開始（該当校区：和歌山市内の紀ノ川以北）
昭和 59 年 4 月 6 日	分校スクールバス 1 台購入、運行開始
昭和 59 年 6 月 5 日	分校第 1 期工事竣工（普通教室 8、特別教室 12）
昭和 60 年 3 月 29 日	本校スクールバス 1 台増車（計 5 台となる）
昭和 60 年 3 月 30 日	普通教室 4、生徒更衣室、女子便所竣工
昭和 60 年 4 月 1 日	有功ヶ丘学園分校を園部分校と校名変更
昭和 60 年 6 月 6 日	分校第 2 期工事竣工（管理棟、体育館）
昭和 61 年 3 月 20 日	分校第 3 期工事竣工（プール棟、窯業実習棟、車庫）
昭和 61 年 4 月 1 日	第 3 代校長 上村 薫 就任
昭和 63 年 4 月 1 日	岩出療育園教室を毎日の学習形態とし、岩出分教室と改称
昭和 63 年 4 月 1 日	訪問教育部を重度・重複教育部と改称
平成元年 1 月 31 日	分校落成式を挙行
平成元年 4 月 1 日	第 4 代校長 小村 省三 就任
平成 2 年 3 月 31 日	分校体育器具庫竣工
平成 4 年 4 月 1 日	第 5 代校長 赤井 孝 就任
平成 4 年 8 月 28 日	体育館放送設備改修
平成 4 年 8 月 31 日	大規模改造（高等部棟外部改修）
平成 5 年 3 月 31 日	自転車置場の新設（本校）
平成 5 年 4 月 1 日	高等部肢体不自由重複学級設置 園部分校教頭職設置
平成 5 年 4 月 1 日	分校スクールバス 1 台増車（計 2 台となる）
平成 5 年 4 月 8 日	体育館床面研磨塗装（本校）
平成 5 年 6 月 26 日	創立 20 周年記念式典を挙行
平成 5 年 9 月 2 日	大規模改造（小学部棟外部改修）
平成 5 年 12 月 15 日	大規模改造（高等部棟内部改修）
平成 6 年 3 月 31 日	高等部トイレ棟改修
平成 6 年 4 月 1 日	第 6 代校長 山本 浩司 就任
平成 6 年 4 月 1 日	小学部・中学部肢体不自由重複学級設置
平成 6 年 8 月 31 日	大規模改造（中学部棟外部改修）
平成 6 年 10 月 26 日	大規模改造（小学部棟内部改修）
平成 7 年 4 月 1 日	本校教頭 2 名配置
平成 7 年 4 月 17 日	本校スクールバス 1 台増車（計 5 台となる）
平成 7 年 9 月 4 日	大規模改造（管理棟外部改修）
平成 8 年 1 月 10 日	大規模改造（中学部棟内部改修）
平成 8 年 3 月 31 日	体育館屋根研磨塗装（本校）
平成 8 年 4 月 1 日	第 7 代校長 高瀬 可行 就任
平成 9 年 4 月 1 日	第 8 代校長 中山 浩顕 就任

平成 9 年 4 月 1 日	高等部訪問教育試行実施
平成 11 年 3 月 31 日	岩出分教室を閉級
平成 11 年 4 月 1 日	紀伊コスモス養護学校の開校に伴い園部分校を紀伊コスモス養護学校へ移管
平成 12 年 4 月 1 日	第 9 代校長 山路 正雅 就任
平成 12 年 11 月 2 日	合併処理浄化槽設置
平成 13 年 3 月 30 日	エレベーター棟竣工
平成 15 年 2 月 24 日	スクールバスターミナル竣工
平成 15 年 3 月 31 日	中庭改修
平成 15 年 4 月 1 日	第 10 代校長 高尾 静生 就任
平成 15 年 5 月 26 日	創立 30 周年記念式典を挙行
平成 15 年 12 月 10 日	大規模改造（管理棟内部改修）
平成 17 年 3 月 31 日	プール改修
平成 17 年 4 月 1 日	第 11 代校長 露峯 明信 就任
平成 17 年 10 月 19 日	運動場周回路改修
平成 18 年 4 月 1 日	和歌山市立雑賀小学校愛徳分校及び西浜中学校愛徳分校が県立移管され、 和歌山県立紀北養護学校愛徳分教室として発足
平成 19 年 3 月 28 日	体育館耐震補強他工事
平成 20 年 4 月 1 日	和歌山県特別支援学校設置条例の一部改正により、「和歌山県立紀北支援学校」 と校名変更
平成 20 年 4 月 1 日	第 12 代校長 池田 八主雄 就任
平成 21 年 3 月 31 日	校舎全面改築工事基本設計完成
平成 22 年 3 月 31 日	校舎全面改築工事に向け、水泳プール、車庫撤去
平成 22 年 4 月 1 日	校舎全面改築工事（第 1 期工事）着工、築山撤去
平成 23 年 3 月 31 日	校舎全面改築工事（第 1 期工事）新校舎（第 1 教室棟）完成
平成 23 年 5 月 9 日	新校舎（第 1 教室棟）「竣工式」挙行
平成 24 年 4 月 1 日	第 13 代校長 金川 宏 就任
平成 26 年 4 月 1 日	第 14 代校長 武内 正晴 就任
平成 28 年 4 月 1 日	第 15 代校長 太田 善孝 就任
平成 30 年 4 月 1 日	第 16 代校長 米田 良博 就任
令和 3 年 4 月 1 日	第 17 代校長 児玉 修造 就任
令和 4 年 3 月 31 日	普通・特別教室棟内いす式階段昇降機設置
令和 5 年 4 月 1 日	第 18 代校長 柏木 美紀 就任
令和 5 年 11 月 1 日	創立 50 周年記念式典を挙行
令和 7 年 2 月 27 日	新校舎建築に伴う学校北側出入口床版工事完了
令和 7 年 4 月 1 日	寄宿舍を和歌山ろう学校寄宿舍内に移転、共同運営を開始
令和 7 年 4 月 14 日	旧寄宿舍解体工事着工

2 教育方針・目標

【目指す紀北の子供像】

『 やさしく 明るく たくましく 』

【教育方針】

一人一人の障害・発達・生活の実態を正しくとらえるとともに、教育的ニーズを把握しすべての子供のもつ発達の可能性を最大限に伸ばし、子供を中心とし、将来を見据えた教育を創造する。よって、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服し、社会の一員としての自立をめざし、明るくたくましくより豊かに「生きる力」を育む。

【教育目標】

- 1 基本的な生活習慣を身に付け、社会参加できる力をつける。【生活】
- 2 基礎的な体力を身に付け、健康でたくましく、豊かな情操を育む。【からだ：心と体】
- 3 基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、自ら学び、自ら考え行動する力を育む。
【学力：資質・能力】
- 4 コミュニケーションの力を身につけ、自分を知り、自分を信じる力や他者を思いやる気持ちを育む。【人との関わり】

3 設置課程

【本校】

知的障害		肢体不自由	
学部	修業年限	学部	修業年限
小学部	6年	小学部	6年
中学部	3年	中学部	3年
高等部	3年	高等部	3年

【愛徳分教室】

肢体不自由	
学部	修業年限
小学部	6年
中学部	3年

病院内に設置されている学校（分教室）である。児童生徒は、愛徳医療福祉センターで生活し、日々治療やリハビリテーションに励みながら学校生活を送っている。整形外科疾患による入院治療のために、一般の小・中学校から転入してきた児童生徒も在籍している。

4 職員・児童生徒数

令和7年5月1日現在

(1) 職員数

	校長	教頭	教諭	講師	養護 論(助) 教諭	実習 助 手	寄宿 舎指 導員	栄養 教諭	事務 長	事務 職員	校務 員	学校 業務 補助 員	介助 職員	給食 員	教員 業務 支援 員	学 校 医						学校 薬剤 師	看 護 師	総 計
																内 科	眼 科	歯 科	精 神 科	耳 鼻 科	整 形 外 科			
男		1	62	12		1	4		1	2	2	2	9			1	1	1	1	1	1			102
女	1	1	82	14	2	1	3	1		2			12	6	1							1	3	130
計	1	2	144	26	2	2	7	1	1	4	2	2	21	6	1	1	1	1	1	1	1	1	3	232

※専任舎監の(1)は教諭に含み内数とする。

(2) 児童生徒数(学部別)

		本 校			愛徳分教室		総合計
		小学部	中学部	高等部	小学部	中学部	
児童 生徒 数	男	118	44	62	1	0	225
	女	41	21	29	1	0	92
	計	159	65	91	2	0	317
合計		315			2		317

【本 校】

(3) 児童生徒数(学級別)

学部		小 学 部																								
学 年 等		知的障害												肢体不自由												合 計
		普通学級						重複学級						重複学級						訪問学級						
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
		年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	
児童 数	男	13	13	15	19	22	11	4	2	1	2	5	2	2	1	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	118
	女	4	4	8	2	6	1	1	2	1	0	2	2	0	2	3	2	0	1	0	0	0	0	0	0	41
	計	17	17	23	21	28	12	5	4	2	2	7	4	2	3	5	2	2	3	0	0	0	0	0	0	159
合計		118						24						17						0						159

*肢体不自由普通学級 該当者なし

学部		中 学 部												
学 年 等		知的障害						肢体不自由						合 計
		普通学級			重複学級			重複学級			訪問学級			
		1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	
		年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	
生徒数	男	13	11	9	4	3	1	1	1	1	0	0	0	44
	女	2	6	4	1	2	3	1	1	1	0	0	0	21
	計	15	17	13	5	5	4	2	2	2	0	0	0	65
合計		45			14			6			0			65

*肢体不自由普通学級 該当者なし

学部		高 等 部															
学 年 等		知的障害						肢体不自由						合 計			
		普通学級			重複学級			普通学級			重複学級				訪問学級		
		1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3		1	2	3
		年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年		年	年	年
生徒 数	男	14	20	8	4	5	5	0	0	1	3	2	0	0	0	0	62
	女	3	12	2	4	1	0	0	0	0	1	2	3	1	0	0	29
	計	17	32	10	8	6	5	0	0	1	4	4	3	1	0	0	91
		59			19			1			11			1			91

(4) 児童・生徒通学状況別在学者数

学 部	家 庭	寄宿舎	児童福祉施設	医療機関	合計
小 学 部	159 (0)	0	1	0 (0)	159 (0)
中 学 部	64 (0)	1	0	0 (0)	65 (0)
高 等 部	82 (0)	8	0	1 (1)	91 (1)
合 計	305 (1)	9	1	0 (0)	315 (1)

※訪問教育児童生徒数は、() で内数とする。

(5) 児童生徒の実態（居住地域別状況）

学部	小 学 部							中 学 部				高 等 部				合 計
学年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	小 計	1 年	2 年	3 年	小 計	1 年	2 年	3 年	小 計	
和歌山市	17	20	23	22	27	17	126	18	18	16	52	26	35	15	76	254
海南市	6	4	6	3	8	2	29	3	5	3	11	4	7	3	14	54
紀美野町	1	0	1	0	2	0	4	1	1	0	2	0	0	1	1	7
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	24	24	30	25	37	19	159	22	24	19	65	30	42	19	91	315

※校区… 紀ノ川以南の和歌山市（高積中学校区を除く）

※校区… 海南市（下津町を除く）・海草郡

【愛徳分教室】

(6) 児童生徒数（学級別）

学部	小 学 部												中 学 部						合 計
学 年 等	肢 体 不 自 由																		
	普通学級						重複学級						普通学級			重複学級			
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	
	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	
児童生徒数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0						2						0			0			

(7) 児童・生徒通学状況別在学者数

学 部	家 庭	寄宿舎	児童福祉施設	医療機関	合計
小学部	0	0	0	2	2
中学部	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	2	2

(8) 児童生徒の実態（居住地域別状況）

学部	小 学 部							中 学 部				合 計
学年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	小 計	1 年	2 年	3 年	小 計	
和歌山市	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1
海南市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紀美野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1
合計	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	2

※愛徳医療福祉センターの所在地…和歌山市

※上記の数値は、帰省先状況

5 教育課程表

【小学部】

学年・学級 教科等		知的障害学級												肢体不自由学級												訪問 学級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		普通学級						重複学級						普通学級						重複学級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		1年		2年		3年		4年		5年		6年		1年		2年		3年		4年		5年		6年			1年		2年		3年		4年		5年		6年																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B		A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B

※印は、国語、算数又は課題別学習を児童の実態に応じて学習する。その際、認知面を考慮して、AまたはBグループで学習する。
○印は、合計4単位とする。国語、算数又は国語、算数とあそびの指導、もしくは課題別学習とあそびの指導を児童の実態に応じて学習する。その際、認知面を考慮して、ABCグループで学習する。
*印は、合計4単位とし、児童の課題に応じて、単位を調整する。
☆印は、合計6単位とし、児童の課題に応じて、単位を調整する。

【中学部】

学年・学級 教科等		知的障害学級						肢体不自由学級						訪問 学級
		普通学級			重複学級			普通学級			重複学級			
		全学年			全学年			1年	2年	3年	全学年			
		A	B		A	B		A	B		A	B		
教科	国語	※2	※2.5	※2	※2.5		4	4	3	※1.5				
	社会	※1	※1	※1	※1		3	3	4	0.5				
	数学	※2	※2.5	※2	※2.5		4	3	4	※1.5				
	理科	※1	※1	※1	※1		3	4	4	0.5				
	音楽	2		2			1	1	1	1				
	美術	2		2			1	1	1	1				
	保健体育	4		4			2	2	2	1				
	技術・家庭						2	2	1					
	外国語	1		1			4	4	4					
職業・家庭		4		4										
特別の教科 道徳		教育活動全体を通して指導						1	1	1	教育活動全体を通して指導			
総合的な学習の時間		2.5			2.5			2	2	2	1			
特別活動		2			2			1	1	1	2			
自立活動		1～3＊			1～3＊			2	2	2	7			☆2～3
合計・国語	国語・数学	1～3＊			1～3＊									
各教科等を 合わせた 指導	課題別学習										※3		☆2～3	
	日常生活の指導	4.5			4.5			2	2	2	15			☆1～2
計		32			32			32	32	32	32			6

※印は、生徒の実態に応じて学習する。その際、認知面を考慮して、AまたはBグループで学習する。
*印は、合計4単位とし、児童の課題に応じて、単位を調整する。
☆印は、合計6単位とし、生徒の課題に応じて、単位を調整する。

【高等部】

学年・学級 教科等		知的障害学級								肢体不自由学級	
		教育課程Ⅲ				教育課程Ⅱ				教育課程Ⅰ	
		普通学級		重複学級		普通学級		重複学級		重複学級	
		全学年		全学年		全学年		全学年		全学年	
		A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
教科	国語	※3	※3	※3	※3	※1.5	※1.5	※1.5	※1.5	○1.5	
	社会	※1.5	※1.5	※1.5	※1.5	※1	※1	※1	※1	1	
	数学	※3	※3	※3	※3	※1.5	※1.5	※1.5	※1.5	○1.5	
	理科	※1.5	※1.5	※1.5	※1.5	※1	※1	※1	※1	1	
	音楽	※2(選択)		※2(選択)		2		2		2	
	美術					2		2		2	
	保健体育	2		2		2		2		2	
	外国語	1		1							
	職業	1		1		1		1			
	家庭	1		1		1		1			
	情報	1		1							
	道徳	1		1		1		1		教育活動全体を通して指導	
	総合的な探究の時間	1		1		2		2		2	
	特別活動	1		1		1		1		1	
	自立活動	1		1		2		2		○4.5	○5.5 ☆2～3
各教科等を 合わせた指導	作業学習	6		6		6		6		2	
	課題別学習									○2	☆2～3
	日常生活の指導					3.5		3.5		9.5	
学校 設定 科目	ライフセッション	2		2		2		2		2	
	セルフクエスト	3		3		1.5		1.5			
	計	32		32		32		32		32	

※印は、生徒の実態に応じて学習する。その際、認知面を考慮して、AまたはBグループで学習する。

*の音楽/美術は選択教科であり、どちらも一度は履修する。

○印は、生徒の実態に応じて学習する。その際、認知面を考慮して、AまたはBグループで学習する。

☆印は、合計6単位とし、生徒の課題に応じて、単位を調整する。

【小学部（愛徳分教室）】

学年・学級 教科等		肢体不自由学級							
		普通学級						重複学級	重複学級
		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	低学年	高学年
		年	年	年	年	年	年	年	年
		A	B	A	B	A	B	A	B
教科	国語	9	9	6	7	6	6	※4	※4
	社会			2	3	3	3		
	算数	5	5	5	5	5	5	※3	※3
	理科			2	3	3	3		
	生活	3	3					1	1
	音楽	1	1	1	1	1	1	1	1
	図画工作	2	2	2	2	1	1	1	1
	家庭					2	2		
	体育	2	2	2	2	2	2	2	2
	外国語					1	1		
	特別の教科 道徳	1	1	1	1	1	1	教育活動全体を通して指導	
	外国語活動			1	1				
	総合的な学習の時間			2	2	2	2		
	特別活動	1	1	1	1	1	1	1	1
	自立活動	1	1	1	1	1	1	6	6
各教科等 合わせた指導	日常生活の指導							8	8
	課題別学習							※5	※5
	遊びの指導							2	2
	計	25	25	26	29	29	29	27	27

※印は、国語、算数又は課題別学習を児童の実態に応じて学習する。その際、認知面を考慮して、AまたはBグループで学習する。

【中学部（愛徳分教室）】

学年・学級 教科等		肢体不自由学級			
		普通学級			重複学級
		第1学年	第2学年	第3学年	全学年
		年	年	年	年
		A	B	A	B
教科	国語	4	4	4	※3
	社会	4	4	4	※1
	数学	4	4	4	※2
	理科	4	4	4	※1
	音楽	1	1	1	1
	美術	1	1	1	1
	保健体育	1	1	1	2
	技術・家庭	1	1	1	
	外国語	4	4	4	
	道徳	1	1	1	教育活動全体を通して指導
	総合的な学習の時間	2	2	2	1
	特別活動	1	1	1	1
	自立活動	1	1	1	6
各教科等 合わせた指導	日常生活の指導				8
	課題別学習Ⅰ				6
	課題別学習Ⅱ				1
	計	29	29	29	27

※印は、国語、社会、数学、理科又は課題別学習を生徒の実態に応じて学習する。

【高等部】肢体普通学級 教育課程表

教科等	科目	標準単位数	必修	選択	設定単位数	1年	2年	3年
国語	現代の国語	2	○		2	2		
	言語文化	2	○		2		2	
	論理国語	4						
	文学国語	4			2			2
	国語表現	4						
	古典探究	4						
地理歴史	地理総合	2	○		2		2	
	地理探究	3						
	歴史総合	2	○		2			2
	日本史探究	3						
	世界史探究	3						
公民	公共	2	○1,2年次		2	2		
	倫理	2						
	政治・経済	2						
数学	数学Ⅰ	3	○		4	2	1	1
	数学Ⅱ	4						
	数学Ⅲ	3						
	数学A	2						
	数学B	2						
	数学C	2						
理科	科学と人間生活	2			2	2		
	物理基礎	2			2			
	物理	4						
	化学基礎	2			2			
	化学	4			4		2	2
	生物基礎	2			2			
	生物	4						
	地学基礎	2			2			
	地学	4						
保健体育	体育	7～8	○		7	2	2	3
	保健	2	○1,2年次		2	1	1	
芸術	音楽Ⅰ	2						
	音楽Ⅱ	2						
	音楽Ⅲ	2						
	美術Ⅰ	2						
	美術Ⅱ	2						
	美術Ⅲ	2			6	2	2	2
	工芸Ⅰ	2						
	工芸Ⅱ	2						
	工芸Ⅲ	2						
	書道Ⅰ	2						
	書道Ⅱ	2						
	書道Ⅲ	2						
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	○		3	1	1	1
	英語コミュニケーションⅡ	4						
	英語コミュニケーションⅢ	4						
	論理・表現Ⅰ	2						
	論理・表現Ⅱ	2						
	論理・表現Ⅲ	2						
家庭	家庭基礎	2	○		2	1	1	
	家庭総合	4						
情報	情報Ⅰ	2	○		4	2	1	1
	情報Ⅱ	2						
総合的な探究の時間		3～6			5	1	2	2
特別活動(生徒会、HR活動)		3			3	1	1	1
特別の教科 道徳		3			3	1	1	1
自立活動		3～6			3	1	1	1
学校設定科目	セルフクエスト	6			9	3	3	3
	ライフセッション	6			9	3	3	3
	作業学習	6			9	2	3	4
合計					87	29	29	29

*芸術はⅠを履修した後でⅡへ進む。(例)音楽ⅠⅡ、美術Ⅰ

高等部肢体普通学級 教育課程表(令和7年新入生から年次進行)

教科等	科目	標準単位数	必履修	選択	履修単位数	1年	2年	3年
国語	現代の国語	2	○		2	2		
	言語文化	2	○		2		2	
	文学国語	4			2			2
地理歴史	地理総合	2	○		2		2	
	歴史総合	2	○		2			2
公民	公共	2	○1,2年次		2	2		
数学	数学Ⅰ	3	○		3	1	1	1
理科	科学と人間生活	2	○		2	2		
	生物基礎	2	○		2		2	
	生物	4			2			2
保健体育	体育	7～8	○		7	2	2	3
	保健	2	○1,2年次		2	1	1	
芸術	音楽Ⅰ	2		3年間で 1教科を 選択	6	※2		
	音楽Ⅱ	2					▽2	▽2
	美術Ⅰ	2				※2		
	美術Ⅱ	2					▽2	▽2
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	○		3	1	1	1
家庭	家庭基礎	2	○		2	1	1	
情報	情報Ⅰ	2	○		4	2	1	1
総合的な探究の時間		3～6			6	2	2	2
特別活動(生徒会、HR活動)		3			3	1	1	1
特別の教科 道徳		3			3	1	1	1
自立活動		3～6			3	1	1	1
学校設定科目	セルフクエスト	6			9	3	3	3
	ライフセッション	6			9	3	3	3
	作業学習	6			9	2	3	4
合計					87	29	29	29

*芸術は、1学年で音楽Ⅰ・美術Ⅰのどちらかを履修する。2・3学年では、1学年で選択した科目のⅡを履修する。

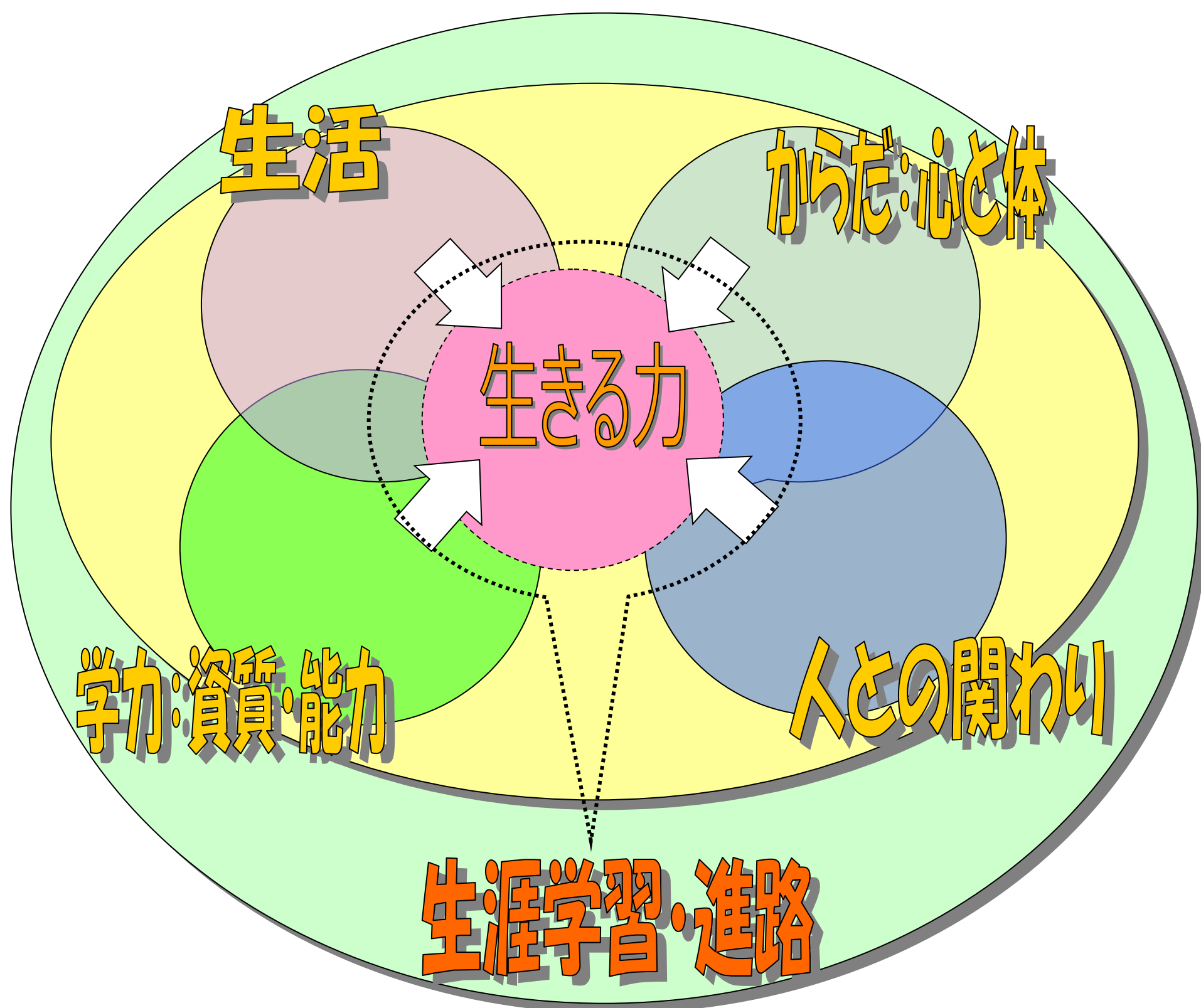
6 各学部教育

(1) 学部教育目標（教育目標系統表）

	就学前	小学部の教育目標	中学部の教育目標	高等部の教育目標	卒業後
前文		小学部は、人やものとの関わりを通して、自我を形成していく時期である。 この時期に、基本的生活習慣の定着をめざすとともに、他者との信頼関係を築きながら、楽しく主体的に学校生活を送る力をつける。	中学部は、思春期を迎え、バランスの良い健康な心と体をつくることが大切な時期である。 この時期に、自分と向き合い、自己理解を進め、仲間との関わりを大切にしながら、進んで社会参加に向かおうとする力を育む。	高等部は、健康な心と体を育て、自己理解を深め、将来について考えていく時期である。 この時期に、これまで獲得してきた力を高め、多様な人々との関わりを通して個々に応じた自立と社会参加をめざし、人生をよりよくしていく態度を育む。	
柱① 生活		基本的な生活習慣を身に付け、主体的に学校生活を送る力をつける。	基本的な生活習慣を確立し、主体的に学校生活を送り、社会参加に向かうための素地を育む。	主体的に考え、行動し、自立して社会の中で生活する力をつける。	
柱② からだ： 心と体		- 生理的基盤を整え、自らのからだを調整する力をつける。 - 体験を通して情感豊かな心を育む。	- 運動機能を高め、体力をつけ、様々な生活場面に生かす。 - 思春期の心と体の変化を正しく理解し、バランスをとる力を育む。 - 様々な事象や体験を通して、情感豊かな心を育てる。	- 思春期から青年期を迎える心と体の変化を受け止め、健康の保持・増進をめざす。 - 生命の尊さを知り、自分や相手を大切にする気持ちや態度を育む。 - 文化や多様な事象、体験を通して豊かな心や創造性を育む。	
柱③ 学力： 資質・能力		- 基礎的な知識・技能を身に付ける。 - 興味関心を広げ、学びに向かう力を育む。	- 基本的な知識・技能を身に付ける。 - 体験したことを活用し、自分で考え、行動できる力を培う。 - 学んだことを日常生活に生かそうとする態度を養う。	自ら学び、自ら考える態度を養い、学んだ知識・技能を生活に活かす力をつける。	
柱④ 人との 関わり		- 自分の思いを表現したり、相手の思いに気付いたりする力をつける。 - 教師や友だちとの関係を軸に、人やものに関わる力を広げる。	- 自分の思いを伝えるとともに、相手の気持ちを尊重する力を育む。 - 集団生活をととして、仲間と共に協力する力や主体的に活動する力をつける。	- 自分の気持ちを伝える力や、仲間や本人をとりまく人々と共に活動に取り組む中で豊かな人間関係を築く力をつける。 - 自分の個性や多様性を認め合い、共に活動する力を育む。	
		生涯学習・進路 将来について考え、社会の中で自分の生き方を見いだす。 生涯をととして学んでいこうとする意欲や態度			

学校として大切にしている4つの柱

本校では、下図のように『「生活」「からだ：心と体」「学力：資質・能力」「人との関わり」』の4つの柱から子どもの発達課題をとらえ、日々の教育活動を展開しています。すべての子どもたちが、自らの生活の主体者として豊かな人間性を育めるよう支援を行います。これら4つの柱に対して、それぞれの学部が大切にしているねらいをまとめています。



小学部 知的障害 重複学級 第5学年

	月	火	水	木	金
	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
1	日常生活の指導	体育	体育	体育	日常生活の指導
		日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	
2	生活	自立活動/ 国語・算数	自立活動/ 国語・算数	自立活動/ 国語・算数	自立活動/ 国語・算数
3	生活	国語/ 課題別学習	算数/ 課題別学習	音楽	算数/ 課題別学習
4	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
5	図画工作	生活	特別活動	国語/ 課題別学習	体育
6	図画工作	特別活動	日常生活の指導	国語/課題別学習	体育
	日常生活の指導			日常生活の指導	日常生活の指導
7	日常生活の指導			日常生活の指導	日常生活の指導
		日常生活の指導			

※小学部3段階以上の学習課題の児童は、日常生活の指導に外国語活動も合わせています。

小学部 知的障害 重複学級 第6学年

	月	火	水	木	金
	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
1	日常生活の指導	体育	体育	体育	日常生活の指導
		日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	
2	生活	自立活動/ 国語・算数	自立活動/ 国語・算数	音楽	自立活動/ 国語・算数
3	生活	国語/ 課題別学習	算数/ 課題別学習	自立活動/ 国語・算数	算数/ 課題別学習
4	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
5	図画工作	生活	特別活動	国語/ 課題別学習	体育
6	図画工作	特別活動	日常生活の指導	国語/課題別学習	体育
	日常生活の指導			日常生活の指導	日常生活の指導
7	日常生活の指導			日常生活の指導	日常生活の指導
		日常生活の指導			

※小学部3段階以上の学習課題の児童は、日常生活の指導に外国語活動も合わせています。

小学部 肢体不自由 重複学級 第4～6学年

	月	火	水	木	金
	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
1	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
2	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動
3	音楽	あそびの指導 /国語	算数/ 課題別学習	図画工作	体育
4	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
5	自立活動	生活	特別活動	自立活動	自立活動
	算数/ 課題別学習			国語/ 課題別学習	生活
6	日常生活の指導	特別活動	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
	日常生活の指導			日常生活の指導	日常生活の指導
7		日常生活の指導			
		日常生活の指導			

中学部 知的障害 普通学級 第1学年

	月	火	水	木	金
	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
1	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
	保健体育	保健体育	保健体育	総合的な学習の時間	保健体育
2	自立活動/ 国語/数学	国語/数学	自立活動/ 国語/数学	自立活動/ 国語/数学	自立活動/ 国語/数学
3	総合的な 学習の時間	職業・家庭	外国語活動/ 国語	職業・家庭	社会
4	総合的な 学習の時間	職業・家庭	数学	職業・家庭	理科
5	数学	音楽	特別活動	保健体育	美術
6	国語	音楽	日常生活の指導	保健体育	美術
7	日常生活の指導	特別活動	日常生活の指導	日常生活の指導	
		日常生活の指導			

中学部 知的障害 重複学級 第1学年

	月	火	水	木	金
	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
1	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
	保健体育	保健体育	保健体育	総合的な学習の時間	保健体育
2	自立活動/ 国語/数学	国語/数学	自立活動/ 国語/数学	自立活動/ 国語/数学	自立活動/ 国語/数学
3	総合的な 学習の時間	職業・家庭	外国語活動/ 国語	職業・家庭	社会
4	総合的な 学習の時間	職業・家庭	数学	職業・家庭	理科
5	数学	音楽	特別活動	保健体育	美術
6	国語	音楽	日常生活の指導	保健体育	美術
7	日常生活の指導	特別活動	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
		日常生活の指導			

中学部 知的障害 普通学級 第2、3学年

	月	火	水	木	金
	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
1	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
	保健体育	保健体育	保健体育	総合的な学習の時間	保健体育
2	自立活動/ 国語/数学	国語/数学	自立活動/ 国語/数学	自立活動/ 国語/数学	自立活動/ 国語/数学
3	総合的な 学習の時間	美術	外国語活動/ 国語	職業・家庭	社会
4	総合的な 学習の時間	美術	数学	職業・家庭	理科
5	数学	職業・家庭	特別活動	保健体育	音楽
6	国語	職業・家庭	日常生活の指導	保健体育	音楽
7	日常生活の指導	特別活動	日常生活の指導	日常生活の指導	
		日常生活の指導			

中学部 知的障害 重複学級 第2、3学年

	月	火	水	木	金
	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
1	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
	保健体育	保健体育	保健体育	総合的な学習の時間	保健体育
2	自立活動/ 国語/数学	国語/数学	自立活動/ 国語/数学	自立活動/ 国語/数学	自立活動/ 国語/数学
3	総合的な 学習の時間	美術	外国語活動/ 国語	職業・家庭	社会
4	総合的な 学習の時間	美術	数学	職業・家庭	理科
5	数学	職業・家庭	特別活動	保健体育	音楽
6	国語	職業・家庭	日常生活の指導	保健体育	音楽
7	日常生活の指導	特別活動	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
		日常生活の指導			

中学部 肢体不自由 重複学級 全学年

	月	火	水	木	金
	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
1	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
2	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動
3	保健体育	国語/数学	国語/数学	国語/数学	音楽
4	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
5	自立活動	自立活動	特別活動	自立活動	自立活動
	理科/社会	日常生活の指導	日常生活の指導	美術	総合的な学習の時間
6	日常生活の指導	特別活動	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
7	日常生活の指導	特別活動	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
		日常生活の指導			

高等部 知的障害学級 教育課程Ⅲ（普通学級）全学年

	月	火	水	木	金
	セルフクエスト	セルフクエスト	セルフクエスト	セルフクエスト	セルフクエスト
1	作業学習	国語	外国語	数学	数学
2	作業学習	数学	国語	理科	国語
3	作業学習	選択音楽/美術	保健体育		職業
4	作業学習	選択音楽/美術	保健体育	社会	家庭
5	作業学習	総合的な探究の時間	特別活動	自立活動	ライフセッション
6	作業学習	情報	セルフクエスト	セルフクエスト	ライフセッション
7	セルフクエスト	道徳	セルフクエスト	セルフクエスト	
		セルフクエスト			

高等部 知的障害学級 教育課程Ⅲ（重複学級）全学年

	月	火	水	木	金
	セルフクエスト	セルフクエスト	セルフクエスト	セルフクエスト	セルフクエスト
1	作業学習	国語	外国語	数学	数学
2	作業学習	数学	国語	理科	国語
3	作業学習	選択音楽/美術	保健体育		職業
4	作業学習	選択音楽/美術	保健体育	社会	家庭
5	作業学習	総合的な探究の時間	特別活動	自立活動	ライフセッション
6	作業学習	情報	セルフクエスト	セルフクエスト	ライフセッション
7	セルフクエスト	道徳	セルフクエスト	セルフクエスト	
		セルフクエスト			

高等部 知的障害学級 教育課程Ⅱ（普通学級）全学年

	月	火	水	木	金
	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
1	作業学習	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	美術
		セルフクエスト	セルフクエスト	セルフクエスト	
2	作業学習	数学	国語/数学	理科	美術
3	作業学習	国語	総合的な探究の時間	社会	職業/家庭
4	作業学習	自立活動	総合的な探究の時間	自立活動	職業/家庭
5	作業学習	保健体育	特別活動	音楽	ライフセッション
6	作業学習	保健体育	日常生活の指導	音楽	ライフセッション
7	日常生活の指導	道徳	日常生活の指導	日常生活の指導	
		日常生活の指導			

高等部 知的障害学級 教育課程Ⅱ（重複学級）全学年

	月	火	水	木	金
	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
1	作業学習	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	美術
		セルフクエスト	セルフクエスト	セルフクエスト	
2	作業学習	数学	国語/数学	理科	美術
3	作業学習	国語	総合的な探究の時間	社会	職業/家庭
4	作業学習	自立活動	総合的な探究の時間	自立活動	職業/家庭
5	作業学習	保健体育	特別活動	音楽	ライフセッション
6	作業学習	保健体育	日常生活の指導	音楽	ライフセッション
7	日常生活の指導	道徳	日常生活の指導	日常生活の指導	
		日常生活の指導			

高等部 肢体不自由学級 教育課程Ⅳ（普通学級）2 学年

	月	火	水	木	金
	セルフクエスト	セルフクエスト	セルフクエスト	セルフクエスト	セルフクエスト
1	※	※	選択芸術	※	作業学習
2	歴史総合	特別の教科道徳	文学国語	生物	作業学習
3	作業学習	選択芸術	生物	文学国語	総合的な探究の時間
4	作業学習	数学Ⅰ	体育	情報Ⅰ	総合的な探究の時間
5	体育	ライフセッション	特別活動	自立活動	ライフセッション
6	体育	歴史総合	セルフクエスト	セルフクエスト	ライフセッション
7	セルフクエスト	英語コミュニケーションⅠ	セルフクエスト	セルフクエスト	
		セルフクエスト			

※時間は、1単位時間45分のための総時間時数の補完に充てる。

高等部 肢体不自由学級 教育課程Ⅰ（重複学級）全学年

	月	火	水	木	金
	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
1	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動
2	美術	数学/課題別学習	国・数/自立活動	理科	作業学習
3	美術	国語/課題別学習	自立活動	社会	作業学習
4	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
5	保健体育	総合的な探究の時間	特別活動	音楽	ライフセッション
6	保健体育	総合的な探究の時間	日常生活の指導	音楽	ライフセッション
7	日常生活の指導	自立活動	日常生活の指導	日常生活の指導	
		日常生活の指導			

【愛徳分教室】

小学部 肢体不自由学級（普通学級）

	1, 2年				
	月	火	水	木	金
1	国語	生活	国語	算数	国語
2	国語	国語	算数	国語	算数
3	算数	国語	算数	道徳	生活
4	リハビリテーション				
5	自立活動	図工	国語(書)	音楽	国語
6	体育	図工	生活	特別活動	体育
7					

	4年				
	月	火	水	木	金
1	理科	国語	国語	算数	国語
2	国語	算数	社会	国語	国語(書)
3	国語	理科	算数	道徳	算数
4	リハビリテーション				
5	総合的な学習の時間	自立活動	図工	音楽	社会
6	総合的な学習の時間	体育	図工	特別活動	理科
7	算数	外国語活動		社会	体育

	3年				
	月	火	水	木	金
算数	社会	外国語活動	算数	国語(書)	
理科	国語	算数	国語	国語	
国語	算数	理科	道徳	算数	
リハビリテーション					
国語	自立活動	図工	音楽	社会	
総合的な学習の時間	体育	図工	特別活動	総合的な学習の時間	
					体育

	5, 6年				
	月	火	水	木	金
理科	社会	算数	理科	国語	
社会	国語	外国語	算数	国語	
算数	算数	国語	道徳	算数	
リハビリテーション					
体育	図工	総合的な学習の時間	音楽	体育	
自立活動	家庭	総合的な学習の時間	特別活動	理科	
国語	家庭		国語	社会	

小学部 肢体不自由学級（重複学級）

	月	火	水	木	金
1	リハビリテーション				
2	日常生活の指導	日常生活の指導 / 自立活動	日常生活の指導 / 自立活動	日常生活の指導 / 自立活動	日常生活の指導 / 自立活動
3	自立活動	課題別学習/算数	自立活動	課題別学習/国語	自立活動
4	あそびの指導	体育	あそびの指導	体育	課題別学習/国語
5	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
6	課題別学習/国語	生活	音楽	特別活動	自立活動
7	図画工作			課題別学習/算数	

中学部 肢体不自由学級（普通学級）

	1, 2年				
	月	火	水	木	金
1	国語	数学	外国語	数学	理科
2	数学	理科	社会	外国語	外国語
3	社会	国語	理科	社会	数学
4	リハビリテーション				
5	理科	自立活動	国語	道徳	総合的な学習の時間
6	外国語	社会	技術・家庭	特別活動	総合的な学習の時間
7	保健体育	美術		音楽	国語

	3年				
	月	火	水	木	金
国語	数学	外国語	国語	外国語	
数学	国語	国語	外国語	理科	
社会	理科	理科	道徳	数学	
リハビリテーション					
自立活動	社会	技術・家庭	社会	総合的な学習の時間	
保健体育	外国語	数学	特別活動	総合的な学習の時間	
理科	美術		音楽	社会	

中学部 肢体不自由学級（重複学級）

	月	火	水	木	金
1	リハビリテーション				
2	日常生活の指導	日常生活の指導 / 自立活動	日常生活の指導 / 自立活動	日常生活の指導 / 自立活動	日常生活の指導 / 自立活動
3	自立活動	課題別学習/数学	自立活動	課題別学習/数学	自立活動
4	課題別学習/国語	保健体育	課題別学習/国語	保健体育	課題別学習/国語
5	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
6	課題別学習/理科	総合的な学習の時間	音楽	特別活動	自立活動
7	美術			課題別学習/社会	

*リハビリテーションは、愛徳医療福祉センターにて実施

(3) 訪問教育

本校の教育方針をふまえ、家庭、医療、福祉等の関係機関と深く連携しながら教育の充実に努める。

ア 教育目標

各学部教育目標に準ずる。

イ 日課表

原則週3回の授業とする。

1回の訪問学習時間は2時間を基本とし、児童生徒の実態に応じて日課を計画する。

日 課 表	
日常生活の指導	・ はじまりの会 ・ バイタルチェック（保護者からの聞き取りを含む）
自立活動	
課題別学習	
日常生活の指導	・ おわりの会

ウ その他

- ・ 訪問教育は、一つの指導形態である。学習の形態については、児童生徒の特性に応じた指導をする。（家庭等における学習・スクーリング等）
- ・ 児童生徒の生活年齢をふまえた指導を進める。
- ・ 集団の幅を拡げる取組に努める。

(4) 課外クラブ（中学部・高等部）

〈目標〉	・ 主体的に参加し、集団活動ができる力を養う。 ・ 競技(ソフトボール・サッカー)の基本的なルールや勝敗を理解する。 ・ 対外試合などをとおして、他校や地域との交流を図る。
〈指導内容〉	学年や学級の所属を離れ、同好の生徒をもって組織するクラブにおいて、異年齢集団の交流を深め、共通の興味・関心を追求する活動をおこなう。 (1) クラブの計画・運営 (2) クラブを楽しむ活動 (3) クラブの成果の発表
〈指導方法〉	・ 毎週水曜日、14:10～15:00 の時間で行う。 ・ バス通学生はバス運行のある日に行う。 (バス運行日の練習時間は14:10～15:30とする) 【ソフトボール対外試合予定（高等部）】 10月 和歌山県支援学校ソフトボール大会 ※他校との試合を実施することもある。 【サッカー対外試合予定（高等部）】 1月 和歌山県支援学校サッカー大会 ※他校との試合を実施することもある。

7 年間行事予定表

月	全校	小学部	中学部	高等部	愛徳分教室
4	始業式 入学式 身体測定 健康診断	新入生歓迎会	新入生歓迎会	「紀北支援学校のルールとマナー」「わたしたちの生徒心得」について 新入生歓迎会 現場実習 交通安全指導	授業参観・個人懇談会
5	家庭訪問 健康診断 授業参観	遠足（知4年） 校外学習（知5年）	遠足（知1年）	「いじめ」についての学習 現場実習 遠足（知1年） 修学旅行（知3年） 生徒会連絡協議会	校外学習
6	健康診断 防災訓練 救急救命講習 学校概要説明会 いじめアンケート	遠足（知2年） 遠足（知3年） 愛徳分教室との交流（肢2、3年） 宿泊学習（肢4年）	宿泊学習（肢1、2年） 宿泊学習（知2年） 校外学習（肢1・2・3年） 校外学習（知3年）	交通安全指導 現場実習 応募前企業ガイダンス 作業班校外学習（受注班） 自主通学下校指導 めった祭り	校外プール学習 本校との交流（小学部）
7	全校集会 終業式		市立東中学校との交流（生徒会役員）	宿泊学習（知2年） 現場実習 非行防止教室 交通安全テスト	授業参観・個人懇談会 登校日
8				和歌山県支援学校生徒会総会	校外プール学習
9	始業式 身体測定 体験入学 個人懇談会	校外学習（肢全） 交通安全指導（知1年） 交通安全指導（知2年）	校外学習（知2年） 大日山荘（老人介護施設）訪問	ロハスフェア 交通安全指導 現場実習 生徒会役員補欠選挙 支援体連ソフトボール大会 修学旅行（肢3年）	校外プール学習

（知）・・・知的障害学級 （肢）・・・肢体不自由学級 （普）・・・普通学級 （重）・・・重複学級

月	全校	小学部	中学部	高等部	愛徳分教室
10	体験入学 いじめアンケート 火災避難訓練	修学旅行（肢 6 年） 校外学習（知2年）	修学旅行（肢 3 年） 職場見学（知3年）	現場実習 自主通学下校指導 校外学習(理社G) 宿泊学習(肢 1・2 年)	あいあいサタデー 授業参観・個人懇談会 校外学習
11	学校開放月間 全校集会	安原小との交流 小学部祭 交通安全指導（知 3 年） 校外学習（知 1 年） 修学旅行(知 6 年) 校外学習（知 4 年）	修学旅行（知 3 年） スポーツレクリエーション大会 東中学校との作品交流 校外学習（知 2 年）	校外学習(理社G) 現場実習 支援体連陸上大会 施設見学 スポーツ大会（肢、ボウリング）	愛徳祭
12	終業式		中学部祭 校外学習（知 1 年）	高等部祭 現場実習 情報モラル教室 防災スクール	クリスマス会 個人懇談会
1	始業式 身体測定 全校集会 授業参観 作品展示会 いじめアンケート	校外学習（知 2・3 年）	東中との作品交流	現場実習 支援体連サッカー大会 交通安全指導	
2	個人懇談会	お別れ遠足（知 6 年） 校外学習（知 3 年） 校外学習（知 5 年）	お別れ遠足 （知・肢 3 年） 校外学習（知 1 年） 校外学習（知 2 年）	現場実習 施設見学 生徒会役員選挙 生徒総会 進路報告会 自主通学下校指導 「いじめ」についての学習	授業参観・個人懇談会
3	卒業式 （小・中、高、分教室別） 入学面接・選考 入学説明会 終業式	6 年生を送る会	3 年生を送る会	現場実習	卒業生を送る会

（知）・・・知的障害学級 （肢）・・・肢体不自由学級 （普）・・・普通学級 （重）・・・重複学級

8 寄宿舎

(1) 運営方針

本校教育目標達成のために、学部(学級)及び家庭との連絡を密にし、社会の一員としての自立をめざす。

(2) 目標

- ① 遠隔地在住の児童生徒の通学環境を整える。
- ② 日々の生活を豊かに過ごせるよう、生活リズムを整え、基本的生活習慣を身につける。
- ③ 集団生活を通して、寄宿舎のルールやマナーを身につけるとともに、余暇の過ごし方や協働の力を身につける。
- ④ 生活自立学習の活動を通して、卒業後の社会的生活力を身につける。

(3) 日課表

14:40 (水)	寄宿舎帰舎
15:30 (月・木)	寄宿舎帰舎
16:10 (火)	寄宿舎帰舎
下校後	掃除・自由時間
17:40	夕食
18:25	入浴・自由時間・洗濯
21:00	就寝準備
22:00	消灯
7:00	起床・登校準備
7:40	朝食
8:20	スクールバス(ジャンボタクシー)出発
8:50	学校到着

(4) 年間計画

4 月	5 月	6 月	7 月
オリエンテーション 開舎式 畑作業(～7月)	舎生役員の選出	地震避難訓練	生活自立学習 家庭訪問(夏休み中)
9 月	10月	11月	12月
畑作業(～12月)	作品作り(～12月)	火災避難訓練	クリスマス会準備 クリスマス会
1 月	2 月	3 月	
書き初め 作品展示会への出展 舎生役員会の選出	節分 卒業生を送る会	体験入舎	

(5) 年間を通しての活動

○生活自立学習

- ・自立をめざし、他の舎生と共に学ぶ中で、様々な生活スキルを身につける。

(内容) 掃除、洗濯、調理、整理整頓・持ち物の管理、身だしなみ、清潔・健康管理

○舎生会

- ・スポーツ活動、文化的活動、余暇活動(レクリエーション、誕生会、クリスマス会)
その他の活動(散歩、野菜作り、花壇作り、ミニ調理等)

9 人権教育方針

(1) はじめに

世界人権宣言では、人権の尊重が平和の基礎であるとの認識のもと、「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利について平等である」と宣言している。わが国では、日本国憲法施行後基本的人権の享有を保障するため、人権に関する施策が講じられてきた。また、教育基本法に基づき、人格の形成を目指し、平和的な国家及び社会の形成者を育成する教育が、学校、家庭、地域のあらゆる場で推進されてきている。学校教育における人権教育は、教育活動全体を通して行い、児童生徒が社会生活を営む上で必要な知識・技能や態度を身に付けることで人権尊重の精神を養っていくものとする。

本校では、一人一人の違いを尊重しつつ、自ら学び自ら考える力や豊かな心などの「生きる力」を育む中で、人権に関する知的理解（知識的側面）を深め、いのちを大切にすることや、自分の大切さとともに他の人の大切さも認める人権感覚（価値的・態度的側面、技能的側面）をバランスよく身に付けるべく、教育活動全体を通して日常的に取り組んでいく。

そのため、教職員は、人権が尊重される環境づくりに努めるとともに、児童生徒の実態を十分に把握し、一人一人を大切にしたい教育を実践し、互いのよさや可能性が発揮できるよう、学習活動の中で取り組んでいく。また、人権尊重の精神を生活の中で生かせるよう、教職員の共通理解のもと、発達段階に応じ教育活動全体を通して計画的な指導を行う。授業においては、『授業づくりのためのチェックリスト』を活用し、日頃の授業について点検を行い、人権が尊重される学習活動づくりに努めるものとする。

また、人権教育重点目標として、「心身の調和的発達」「自己尊重の感情」「仲間づくり」「コミュニケーションの力」「人権の意義・内容（きまりや約束を守る）」の5つの観点を挙げ、教育活動全体の中で取り組むものとする。また、児童生徒の発達段階やそれぞれの生活の実態に応じて、様々な個別の人権課題（男女平等の問題、子供、高齢者、障害者、同和問題、外国人、拉致問題、感染症等）の学習を取り入れる。

(2) 目 標

- ・自分の大切さとともに他の人の大切さも認める人権感覚を身に付ける。
- ・身近な人権課題に気づき、人権問題の解決に取り組もうとする態度を育む。
- ・多様な文化や個人の価値観等を尊重し、伝え合い分かり合うためのコミュニケーションの能力を高め、問題の解決に取り組むための能力を身に付ける。

10 交流及び共同学習方針

(1) はじめに

共生社会の実現に向けて、交流及び共同学習は、障害の有無に関わらず、共に触れ合い活動することで、社会性を養い、豊かな人間性を育むとともに、互いに尊重し合う大切な機会となり、大きな意義を有する。

本校の児童生徒にとっては、様々な人々と共に助け合って生きていく力となり、積極的な社会参加につながり、障害のない子供にとっては、障害のある人と関わることで、人々の多様な在り方を理解し、言葉かけや支援を行うなど、相互に支え合う意識を育むことにつながる。

交流及び共同学習の機会を設けることが、共に尊重し合い、協働して生活していく態度を育み、各学校の教育活動が活性化されるとともに、幅広い体験を得て視野を広げ、豊かな人間形成につながることを期待する。

また、交流及び共同学習の実施に当たっては、教職員、児童生徒、保護者など関係するものが取組の意義やねらい等について、十分理解し共通理解をもって進めていくようにする。

児童生徒の発達段階に応じて、居住地校交流、学校間交流、地域交流等を年間計画に位置づけ、計画的、継続的に取り組む。

(2) 目 標

- ・互いに個性を認め合い、協力し合い、共に生きる気持ちを育てる。
- ・同年代の友達や地域の人々と関わる中で、経験を広げ、社会性を身に付ける。
- ・自分のもつ力を様々な集団で発揮する。

(3) 小学部の交流及び共同学習

ア 目 標

- ・地域の友達とのふれあいを通して、互いのよさを知り、一緒に活動する。
- ・同年代の友達と楽しく関わる中で、順番や簡単なルールなどを身に付ける。
- ・いつもと違う集団・環境の中で、自分の力を発揮しようとする。

イ 具体的な取組

(ア) 学校間交流について

昭和62年度より、安原小学校との交流が始まり、現在では両校の教育課程に位置づけ、取り組んでいる。

※令和6年度は、職員施設見学（6月）、出前授業（6月）と直接交流（11月）、校内作品展に安原小児童の作品を展示（1月）実施。

※下記は、令和元年度実施内容。

月	交 流 名	場 所	内 容
6	授業参観	紀北支援学校	・交流対象学年と新たに安原小学校に赴任した職員が小学部の授業参観をする。
	職員打ち合わせ	紀北支援学校	・安原小職員と紀北支援交流係にて打合せ。
	紹介カード交換		・1年間交流する友だちの顔写真とメッセージのカードを全体交流の前に交換してお互いを知る
	出前授業	安原小学校	・小学4年生を対象に紀北支援学校の職員が出前授業を行う。
	全体・グループ交流	紀北支援学校	・1年間の交流の挨拶とグループに分かれて自己紹介とグループ名を決める。
11	グループ交流	紀北支援学校	・安原小学校の児童が来校し、グループに分かれてゲームなどを行う。
1	作品展	安原小学校	・安原小学校作品展出展。

(イ) 居住地校交流について

平成11年度より居住地校交流をはじめ、各校で様々な取り組みが行われている。

※令和6年度は、小学部148名の内、居住地校交流希望者は98名（直接交流希望52名、間接交流希望95名）であった。

直接交流実施は46名、間接交流実施は95名であった。

下記は、令和6年度実施状況。

相手校	内 容	相手校	内 容
太田小学校	作品交流	宮小学校	特別支援学級との交流、作品交流
三田小学校	特別支援学級との交流、作品交流	宮北小学校	作品交流
伏虎義務教育学校	特別支援学級との交流、作品交流	宮前小学校	特別支援学級との交流、作品交流
吹上小学校	希望者なし	今福小学校	通常学級との交流、作品交流
砂山小学校	特別支援学級との交流、作品交流	芦原小学校	該当者なし
広瀬小学校	希望者なし	大新小学校	特別支援学級との交流、作品交流
高松小学校	特別支援学級との交流、作品交流	雑賀小学校	特別支援学級との交流、作品交流
雑賀崎小学校	特別支援学級との交流	浜宮小学校	作品交流
和歌浦小学校	通常学級との交流、作品交流	名草小学校	作品交流
中之島小学校	作品交流	四箇郷小学校	特別支援学級との交流、作品交流
四箇郷北小学校	特別支援学級との交流、作品交流	安原小学校	特別支援学級との交流、作品交流
山東小学校	特別支援学級との交流、作品交流	東山東小学校	通常学級との交流
岡崎小学校	特別支援学級との交流、作品交流	黒江小学校	希望者なし
日方小学校	作品交流	大野小学校	該当者なし
内海小学校	希望者なし	亀川小学校	作品交流
巽小学校	特別支援・通常学級との交流、作品交流	中野上小学校	特別支援学級との交流、作品交流
北野上小学校	中止	南野上小学校	該当者なし
野上小学校	特別支援学級との交流、作品交流	小川小学校	通常学級との交流、作品交流
下神野小学校	該当者なし	西和佐小学校	特別支援学級との交流、作品交流

(ウ) 愛徳分教室との授業交流

※令和6年度は、リモートで交流を実施。

（４）中学部の交流及び共同学習

中学部では共に学び、共に育ち合う関係づくりを大切にしながら、平成２年度より近隣の東中学校と学校間交流を行っている。

ア 目 標

- ・互いのよさを認め合い、協力し合って活動する態度を養う。
- ・同年代の友達と一緒に楽しく活動する中で、社会性の素地を育む。
- ・様々な集団・環境の中で、自分の力を発揮しようとする。

イ 具体的な取組

※令和４年度は新型コロナウイルス感染症の状況により、東中学校への出前授業と東中学校文化祭へ本校生徒の作品を出展、校内作品展へ東中学校向上学級生徒の作品を展示した。肢体不自由学級は愛徳分教室とリモート交流を実施。

※下記は、令和元年度実施内容。

東 中 学 校 と の 交 流	そ の 他 の 交 流
・東中学校生徒会役員と本校生徒会役員交流 ・音楽クラブ夏休み演奏会および共同学習 ・東中学校文化祭への作品出展 ・本校の校内作品展への向上学級生徒の作品出展及び東中学校向上学級または生徒会役員見学	・音楽演奏を通じた交流（訪問演奏） ・サッカークラブを通じた交流 ・愛徳分教室との共同学習
・東中学校１年生への本校職員による出前授業 ・東中学校職員の本校見学	

ウ そ の 他

総合的な学習の時間などの授業を通して、地域の人との関わりを広げる。

（５）高等部の交流及び共同学習

高等部の生徒にとって、小・中学部の経験の上にたち、同世代の青年とよりよい人間関係を築き、互いの理解を深めることは豊かな社会生活を送ることにつながる。高等部では、様々な形で交流教育を行っている。

ア 目 標

- ・互いのよさを認め合い、協力し合い、共に生きる気持ちを育てる。
- ・同年代の友達や地域の人々と触れ合う中で、経験を広げ、社会性を身に付ける。
- ・様々な集団・環境の中で、自分の力を発揮し、社会の一員として社会参加しようとする態度を養う。

イ 具体的な取組

※令和６年度は、支援学校体育連盟（ソフトボール大会、陸上競技大会、サッカー大会）に参加、和歌山県支援学校生徒会総会にリモート参加、和歌山県高等学校生徒会連絡協議会参加、和歌山県障害者スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会に参加、知的障害学級作業班（受注班）硬式野球部ボールの修理を受注。

※下記は、令和6年度実施内容。

支援学校との交流	課外クラブの交流試合 ・日ごろのクラブ活動で培った練習の成果を発揮する場となっている。またスポーツを通じて、多くの友だちとふれあう機会とする。 支援学校体育連盟への参加 ・ソフトボール大会、サッカー大会等。
高等学校との交流	生徒会交流 ・県高等学校生徒会連絡協議会加入。 ・支援学校生徒会総会への参加。
その他の交流	つながり文化祭のボランティア。 ソフトボール交流試合。全国障害者スポーツ大会和歌山予選参加。

（6）愛徳分教室の交流及び共同学習

愛徳分教室では、本校の児童生徒との交流学习に取り組んでいる。平成19年度から本校の作品展に出展し、作品交流も行っている。また、平成30年度より長期入院児童の居住地校交流を行っている。

ア 目 標

＜小学部＞

- ・地域の友達とのふれあいを通して、互いのよさを知り、一緒に活動する。
- ・同年代の友達と楽しく関わる中で、順番や簡単なルールなどを身に付ける。
- ・いつもと違う集団・環境の中で、自分の力を発揮しようとする。

＜中学部＞

- ・互いのよさを認め合い、協力し合って活動する態度を養う。
- ・同年代の友達と一緒に楽しく活動する中で、社会性の素地を育む。
- ・様々な集団・環境の中で、自分の力を発揮しようとする。

イ 具体的な取組

（ア）本校との交流及び共同学習

※令和6年度は、小学部は本校小学部肢体不自由学級とリモートでの交流、中学部は本校中学部肢体不自由学級とリモートでの交流及び本校での直接交流を実施した。

※ 下記は、令和元年度の実施内容。

直接交流	間接交流
・本校小学部肢体不自由学級との授業交流 ・本校中学部肢体不自由学級との授業交流	・交流する友だちの顔写真やメッセージカードの交換 ・お互いの授業の取組の記録（写真・映像等）を交換 ・音楽の授業を通しての交流

全校集会で児童の紹介をした。

（イ）居住地校交流

※令和6年度は復学に向けて、居住地校とリモート及び直接交流を実施した。



12 道徳教育の全体計画



13 総合的な学習(探究)の時間の全体計画



14 特別活動の全体計画

関係法令等 日本国憲法 教育基本法 学校教育法 学習指導要領 県人権教育基本方針 県教育振興基本計画 県学校教育指導の方針と重点等		学校教育方針 一人一人の障害・発達・生活の実態を正しくとらえるとともに、教育的ニーズを把握し、すべての子供のもつ発達の可能性を最大限に伸ばし、子供を中心とし、将来を見据えた教育を創造する。よって、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服し、社会の一員としての自立をめざし、明るくたくましくより豊かに「生きる力」を育む。		教職員の思い 保護者の思い											
		学校教育目標 1 基本的な生活習慣を身に付け、社会参加できる力を育む。 2 基礎的な体力を身に付け、健康でたくましく、豊かな情操を育む。 3 基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、自ら学び、自ら考え行動する力を育む。 4 コミュニケーションの力を身に付け、自分を知り、自分を信じる力や他者を思いやる気持ちを育む。		【生活】 【からだ：心と体】 【学力資質・能力】 【人との関わり】											
<table><tr><td colspan="2">学校として大切にしている4つの柱</td><td>生</td><td>活</td><td>か</td><td>ら</td><td>だ</td><td>学</td><td>力</td><td>人との関わり</td></tr></table>						学校として大切にしている4つの柱		生	活	か	ら	だ	学	力	人との関わり
学校として大切にしている4つの柱		生	活	か	ら	だ	学	力	人との関わり						
特別活動の目標（小学部・中学部・高等部） 望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団（集団や社会：中学部・高等部）の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方（人間としての生き方：中学部、人間としての在り方生き方：高等部）についての考え（自覚：中学部・高等部）を深め、自己を生かす能力を養う。															
特別活動の重点目標 学級や学年などの多様な学校集団や自己の生活に関心を持つ。 集団の一員としての役割を自覚し積極的に集団活動に取り組む中で、望ましい人間関係を築く。 集団の中で意思を伝えたり、話し合い活動を行ったりする中で、自己の生活の充実と向上に取り組む。															
各活動・学校行事の目標・取組内容															
		学級活動・ホームルーム活動		児童会・生徒会活動		クラブ活動		学校行事に関すること							
小学部	目標	望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的・実践的な態度や健全な生活態度を育てる。		望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的・実践的な態度を育てる。		望ましい人間関係を形成し、個性の伸長を図り、集団の一員として協力してよりよいクラブづくりに参画しようとする自主的・実践的な態度を育てる。		望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。							
	取組内容	本校	集団あそび、行事の事前・事後学習、誕生会、お楽しみ会、清掃などの当番活動、学校図書館の利用		全校集会、学部集会、新・転入生歓迎会、ビデオ大会、6年生を送る会、役員選挙、小学部祭		音楽クラブ、スポーツクラブ、レクリエーションクラブ		始業式、終業式、入学式、卒業式、作品展、夏まつり、運動会、マラソン大会、遠足、宿泊学習、修学旅行、学校間交流、居住地校交流						
		愛徳	話し合い活動、個人目標・学級目標の作成と反省、季節の行事、お誕生日会、お楽しみ会、音楽鑑賞会、掃除		児童会の取組 あいあいサタデーに向けて集会（夏休み・冬休みの生活の過ごし方、お楽しみ会）		スポーツクラブ、音楽クラブ、パソコンクラブ、書道クラブ、レクリエーションクラブ、手品クラブ		始業式、終業式、入学式、卒業式、新入生歓迎会、卒業生を送る会、本校との交流、夏祭り、修学旅行、あいあいサタデー、クリスマス会、作品展示会、校外学習						
中学部	目標	望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的・実践的な態度や健全な生活態度を育てる。		望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的・実践的な態度を育てる。				望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。							
	取組内容	本校	学級での個人目標や委員・係り決め、行事の事前・事後学習（遠足・宿泊・修学旅行）、学校行事に向けての取組（入学式・卒業式）、学部行事に向けての取組（新入生歓迎会・中学部祭・3年生を送る会）		学部集会 中央委員会（生徒会行事の企画運営〔新入生歓迎会・生徒会役員選挙・中学部祭・3年生を送る会〕、全校集会の運営、他校との交流） レクリエーション委員会（レクリエーション大会の企画運営） 環境委員会（校内美化・緑化活動）			始業式、終業式、入学式、卒業式、夏まつり、運動会、遠足、宿泊学習、修学旅行、全校集会							
		愛徳	話し合い活動、個人目標・学級目標の作成と反省、季節の行事、お誕生日会、レクリエーション、音楽鑑賞会、掃除		生徒会の取組 あいあいサタデーに向けて集会（夏休み・冬休みの生活、の過ごし方、お楽しみ会）			始業式、終業式、入学式、卒業式、新入生歓迎会、卒業生を送る会、本校との交流、夏祭り、修学旅行、あいあいサタデー、クリスマス会、作品展示会、校外学習							
高等部	目標	望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてホームルームや学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的・実践的な態度や健全な生活態度を育てる。		望ましい人間関係を形成し、集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的・実践的な態度を育てる。				望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活や社会生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。							
	取組内容	レクリエーション、学年集会、各学期の目標や係り決め・反省、交通安全指導、レクリエーション、平和学習、行事の事前・事後学習、散歩・遊具あそび、調理、図書室の利用、夏休み（冬休み・ゴールデンウィーク）の生活について、卒業（卒業後の生活）に向けて		生徒会活動 ・本部 ・生活部 ・図書部 ・美化部 ・体育部 ・エコ部 ・緑化部 ・イベント部 ・放送部 ・広報部				始業式、終業式、入学式、卒業式、新入生歓迎会、3年生を送る会、作品展示会、高等部祭、体育祭、支援体連ソフトボール大会・陸上競技大会・サッカー大会、遠足、宿泊学習、修学旅行、買い物学習、校外学習							
各教科・領域等との関連															
各教科		道徳		総合的な学習（探究）の時間		外国語活動		自立活動							
各教科等で育成した能力や態度を特別活動で活用する。特別活動で育成した協力的で実践的な態度や能力を各教科で生かす。		道徳的心情を豊かにし、道徳的判断力を高め、道徳的实践意欲と態度の向上を図る。		体験活動の充実を図り、問題を解決する資質や能力を育て、自己の生き方を考える。		積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成や能力を養う。		主体的に自己の力を可能な限り発揮し、よりよく生きていこうとする態度を養う。							
<table><tr><td colspan="2">家庭・地域との連携</td><td colspan="2">評価の観点</td></tr></table>						家庭・地域との連携		評価の観点							
家庭・地域との連携		評価の観点													
<table><tr><td colspan="2">家庭・地域との連携 家庭との協力を行い、望ましい生活習慣を身につけ、心身の健康の増進を図る。 地域社会での実践的な活動を通して地域社会との連携を深め、地域の一員としての自覚を深める。</td><td colspan="2">評価の観点 自己の興味・関心に基づいて、意欲的に取り組んでいるか 話し合い活動を進んで行い、学校生活の充実に努めているか 様々な学校集団の取り組みに、進んで参加しているか 集団における自己の役割を考え、望ましい行動を行っているか</td></tr></table>						家庭・地域との連携 家庭との協力を行い、望ましい生活習慣を身につけ、心身の健康の増進を図る。 地域社会での実践的な活動を通して地域社会との連携を深め、地域の一員としての自覚を深める。		評価の観点 自己の興味・関心に基づいて、意欲的に取り組んでいるか 話し合い活動を進んで行い、学校生活の充実に努めているか 様々な学校集団の取り組みに、進んで参加しているか 集団における自己の役割を考え、望ましい行動を行っているか							
家庭・地域との連携 家庭との協力を行い、望ましい生活習慣を身につけ、心身の健康の増進を図る。 地域社会での実践的な活動を通して地域社会との連携を深め、地域の一員としての自覚を深める。		評価の観点 自己の興味・関心に基づいて、意欲的に取り組んでいるか 話し合い活動を進んで行い、学校生活の充実に努めているか 様々な学校集団の取り組みに、進んで参加しているか 集団における自己の役割を考え、望ましい行動を行っているか													

和歌山県立紀北支援学校 キャリア教育全体計画

本校の「キャリア教育全体計画」は、児童・生徒が自尊感情を高め、生涯にわたって心豊かな人生を送っていくために作成されたものです。

〔キーワード〕 暮らす 働く 楽しむ

キャリアの視点	I	II	III	IV
	2ブロック（肢体）	小学部	中学部	高等部
コミュニケーション力	・働きかけを受けとめること、自分の嫌なこと、嬉しいことを自分なりに表出する。	・言葉、ジェスチャー、ツールなどでやり取りできる。 ・返事ができる。	・自分の意見を伝えたり、相手の意見を聞いたりすることができる。	・自分の意見を的確に相手に伝えることができる。 ・相手と話し合いや交渉ができる。
協力・共同	・友達と一緒に楽しむ。	・物の貸し借りができる。 ・友達や教師との距離感(好ましい関わり)がわかる。	・友達を誘うことができる。 ・他者との距離感がわかる。	・自分の考えや想いを他者に共有していくことができる。 ・他者との正しい関わりができる。
役割	・自分の役割を支援者と一緒に果たすことができる。	・係活動や役割ができるようになる。	・自分の役割を理解し継続的に実行する。	・協働関係の中での自分の役割がわかり、責任感をもってやりとげることができる。
自己調整力	・公共の場やいつもと違う環境で過ごすことができる。 ・生活リズムを整えたり、気持ちをコントロールしたりする。	・落ち着ける場所や安心できる相手をみつける。	・教師のサポートや様々な手段を活用し、気持ちを切り替える。	・状況に対応するために自分で気持ちを整えたり、切り替えたりすることができる。
選択・決定	・やりたいことや好きなもの等を選ぶ。	・欲しいものやしたいことを選択肢の中から選ぶことができる。	・自分に関わることで選択・決定できる。 ・意図がわかって、選択肢の中から選ぶことができる。	・選択肢の中から、納得をして選び取ることができる。 ・生活の中ですべき必要なことを選択決定し、自分で考えて行動することができる。
自己理解・他者理解	・自分の得意なことや苦手なことを知る。	・人とのかかわりを通して、得意なことや苦手なことを知る。	・自分の良さやがんばりを自分で認めることができる。	・自分自身の特性や限界を知ることによって自分に合った行動や選択ができる。(自分でできる、助けがあればできる、むずかしい等) ・他者の良さやがんばりを認められる。
身体の動き・体力	・体調や姿勢の安定をはかる。	・しっかり体を動かす。 ・学習中の姿勢を維持できる。	・様々な場面でいかせる体力をつける。(手先の巧緻性、力加減等) ・立って作業を40分行うことができる。 ・道具を使える(掃除道具、農具、セロテープ等)	・健康や体力を維持するための運動習慣を身につける。 ・2時間以上立って作業ができる。 ・生活リズムを自分で調整できる。
場に応じた言動(挨拶・清潔・身だしなみ・身の整理)	・あいさつの返事、働きかけへの反応ができる。 ・支援者と一緒に身だしなみや身の整理をする。	・あいさつや返事ができる。(教師と一緒に、自ら) ・基本的生活習慣について、やり方を覚え、一人でできることを増やす。(衣服の着脱、食事、排泄 等)	・TP0にあった応答、行動をする。(あいさつ、返事、待つ、並ぶ等) ・身だしなみを整える。(服装、マスク等) ・自分のものを管理できる。	・自ら、あいさつや返事ができる。 ・場に応じた身だしなみを自分で整えることができる。 ・身の周りの環境を自分で整えていくことができる。
助けを求める	・困ったことや心身の不調を色々な方法で表出できる。	・「わかりません」「手伝って」と伝えることができる。(支援グッズ、言葉、行動等)	・気持ち(しんどい・やりたい・嫌等)を色々な方法で伝えることができる。	・助けを求める具体的な言葉や手段をもって、自分から助けを求めることができる。
支援	・食事、入浴、排泄、病院、医療との連携に関わる支援を受け入れられる。 ・協力動作をする。 ・特定の人に限らず、支援を受け入れられる。	・支援を受け入れることができる。	・自分の考え方以外の支援や方法を受け入れて、教師と一緒にやってみることができる。	・支援を受ける意味や良さを知り、自分から支援を求めたり受け入れたりすることができる。 ・様々な福祉サービスや就労支援等の内容について知り、実際に体験したり活用したりする。
相談	・色々な状況(感情等)を表現し、人に伝えられる。	・「できました」等、報告ができる。	・報告、連絡、相談をする。(作業、課題「終わりました」「どうしたらよいですか」)	・連絡や報告の大切さがわかり、多様な他者(教師、家族、支援者、仲間)に伝えることができる。 ・先の物事のことを考え(事前に)相談することができる。
計画力	・見通しが持てる。(始まりと終わり、学校生活)	・手順表や行程がわかる。 ・一日の予定がわかる。	・予定表を見て、活動に見通しを持ち行動する。	・自分でスケジュールを立て、それに沿って行動することができる。 ・時間的な見通しを持って、行動することができる。
学びの活用	・文字や形、色、多い少ないがわかる。	・日常生活の事象と、学習したことを結びつけることができる。 ・学習したことが確実にできる。 (読み書き(平仮名、カタカナ、具体物)ができる、一対一やマッチングができる、始まり終わりが分かる、時計(タイマーなど)がわかる等)	・学習したことを実際の場面でいかすことができる。 (計算機を使い計算ができる、10のまとまりがわかる、絵や図、説明書から情報をおおまかに読み取ることができる等)	・生活に必要なことばや数量等に関する理解を深め、実際の生活場面で活用することができる。 (住所、電話番号、簡単な説明や図表の読み取り、計算機の活用、重さや長さの単位、時間と時刻等)
一人で出かける	・支援を受けながら、行きたいところに行く。	・特別教室へ一人で行ける。[校内] (保健室に保健カードを持っていく、グリーンベルトを通る、廊下を歩く等)	・教師と一緒に出かける経験を積み、安全に行動ができる。[校外]	・自分で計画を立てて出かけることができる。
金銭の扱い・買い物	・お金の種類がわかる。 ・物を買うには、お金が必要だとわかる。	・お金の種類がわかる。 ・物を買うには、お金が必要だとわかる。	・体験を重ねて、物のおおよその値段がわかる。 ・おつりを受け取ることができる。	・労働と賃金の関係がわかる。 ・お金の価値を理解し、計画的に買い物をすることができる。
興味の幅をひろげる	・色々なことを経験したり体験したりして、好きなことや楽しいことをみつける。	・好きな遊びをみつける。 ・一人でできる遊びをみつける。	・友達と一緒にいろいろな体験をする。(運動、アクティブなもの等)	・ON-OFFの区別ができる。 ・他の人がやっていることを知る、他者から関わりがあったら応じられる。 ・安全に一人で過ごすことができる。

〔キャリア教育 基礎的・汎用的能力〕



人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
---------------	-------------	--------	--------------

1 6 進路指導

(1) 進路指導目標

児童生徒一人一人が社会性を身につけつつ自己を発揮し、より一層豊かな生活を送れるよう、学校で培った力を高めながら、自ら生活を拓き楽しめる人間形成をめざす。

ア 基本方針

○ 進路学習に関わって

- ・ 基本的な生活習慣を確立させることを軸にして、生き生きと活動できる健康な体づくりに取り組む。
- ・ 学習や豊かな経験を通して人やものと進んでかかわれる力を身につけ、予測したり段取りをつけたりという「見通し」をもてる力を育てる。
- ・ 困ったことが生じたら人に尋ねたり、自分の願いや要求を素直に出すことによって、事態を自ら切り開いていく力を育てる。
- ・ 教科や道徳、生徒会活動、作業学習、総合的な探究の時間を通して職業生活、社会生活に必要な知識、技能、社会的判断力を培う。
- ・ 学習全般を通して人間形成をはかるとともに、働く意義を知り、働く喜びや意欲を高める。
- ・ 余暇の充実した過ごし方や福祉制度についての知識を持つ。
- ・ 自らの障害を正しく認識したうえで適性を見出し、将来にわたって自己を伸ばしていこうとする積極的な生き方を育てる。
- ・ 現場実習等様々な角度から自分の進路について考え、望ましい将来像を選択、決定していく力を育てる。
- ・ 児童・生徒が自尊感情を高め、生涯にわたって心豊かな人生を送っていくために、「キャリア教育全体計画」を活用する。

○ 進路選択・決定に関わって

- ・ 本人・保護者・学校との間で、「卒業後の進路」について「児童生徒の将来像」を共有し進められるよう、関係性を築き上げる努力を重ねていく。
- ・ 生徒一人ひとりの実態、進路の適性、本人・家族の希望、受入側の条件等を総合的に判断し、もっとも望ましい進路を選定していく。

イ 具体的な取り組み

- ・ 個々の児童生徒の進路上の課題を早期に明らかにして、指導を進める。
- ・ 具体的、直接的に働く場に触れ、学ぶ機会として、職場見学、施設見学、校内・校外実習、現場実習を実施する。
- ・ 進路決定までの道のりの中で、生徒との懇談を適宜行う。
- ・ 小中学部及び高等部の各学年・ブロック対象に保護者対象の進路説明会を開催する。
- ・ 進路に対する保護者の理解を深められるよう、育成会と連携して進路に関する施設見学や研修会を開催する。
- ・ 公共職業安定所、各市町村福祉事務所等関係機関や、施設、事業所との連携を密にする。
- ・ 関係機関主催の研修会や市町の自立支援協議会等に参加することで、進路に関する最新の情報等を収集する。
- ・ 進路先の開拓を進め、様々な機会を通じ、社会や企業の人々による障害特性等に関する正しい理解や適切な支援等協力を得られるよう働きかけ、啓発していく。
- ・ アフターケアの充実に努める。
- ・ 同窓会（紀友会）等により、卒業生が集う機会をつくる。

(2) 年間計画

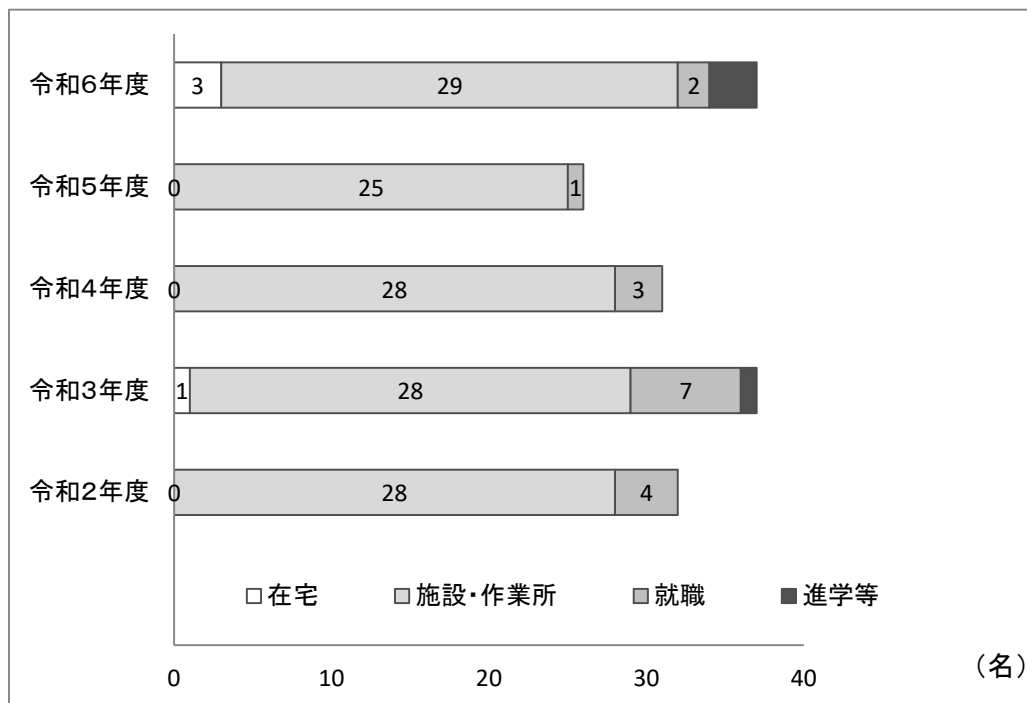
4 月	○現場実習（高3） ○手帳取得調査（全校） ○進路説明会（高3保護者）	8 月	○進路研修（職員）	12 月	○現場実習（高全） ○がんばれ母校！先輩が先生（高全・中3） ○求職登録（高3） ○施設見学（育成会） ○療育手帳更新判定 ○小学部保護者学級
5 月	○紀友会（同窓会）役員会 ○現場実習（高2・3） ○校内実習（高2） （高1・2保護者） ○就労アセスメント（高3） ～7月 ○進路説明会（高1・2保護者）	9 月	○現場実習（高2・3） ○ハローワーク主催 事業所見学（高1） ○就職活動支援セミナー （高2） ○進路説明会（中保護者）	1 月	○現場実習（高全） ○就職関係書類作成 ○職業評価（職業センター） ○療育手帳更新判定 ○進路研修会（育成会）
6 月	○現場実習（高2・3） ○サマー企業ガイダンス （高3） ○療育手帳更新判定（2回）	10 月	○現場実習（高2・3） ○施設見学（育成会）	2 月	○現場実習（高全） ○進路最終決定 ○移行支援会議 ○進路説明会（小保護者） ○成人を祝う会（紀友会） ※
7 月	○アビリンピック ○現場実習（高2・3） ○校内実習（高1） ○インターンシップ ○施設見学（育成会） ○職員進路研修	11 月	○現場実習（高2・3） ○事業所見学（高2） ○保護者茶話会（育成会） ○紀友会（同窓会）役員会 ○療育手帳更新判定	3 月	○卒業式 ○入社、入所開始 ○施設見学（育成会） ○事業所見学（高肢） ○新卒者の定着指導

○アフターケアについては、年間を通して行っている。また、職場開拓についても、必要に応じて行っている。

※令和2年度より、コロナ禍の中、紀友会の役員会・行事は中止している。

(3) 高等部過去5年間の進路状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
在宅	0	1	0	0	3
施設・作業所	28	28	28	25	29
就職	4	7	3	1	2
進学等	0	1	0	0	3



令和6年度 進路内訳

	男子	女子	計
生活介護	7	10	17
就労継続支援B型	3	7	10
就労継続支援A型	0	0	0
自立訓練	0	2	2
就労移行支援	0	0	0
一般就労	2	0	2
在宅(医療・福祉サービス利用)	2	1	3
施設入所	0	0	0
進学	1	2	3
計	15	22	37

1 7 教育支援

(1) 特別支援教育のセンター的機能としての活動

ア 地域支援

本校は、校区（和歌山市；高積中学校を除く紀の川以南、下津町を除く海南市、紀美野町）の就学前施設（幼稚園・保育所）、小・中学校、高等学校等の児童生徒やその保護者、教育関係者を対象に教育相談を中心とする支援活動等を実施している。

教育相談	
(県) 教育相談等早期支援事業に係る巡回相談 令和7年5月～令和8年3月	・教育委員会を通じての依頼による相談。 ・当該学校を訪問し、授業等の様子を観察し、幼児児童生徒の支援について協議する。 ・校内研修会（現職教育等）への協力活動を行う。
相談者からの直接依頼による教育相談 年間を通じて随時実施	・本校教育支援部への電話連絡等による教育関係者や保護者からの相談を実施する。 ・校内研修会（現職教育等）への協力活動を行う。
公開授業週間の授業見学 6月16日（月）～6月20日（金）	・本校における各学部の教育活動の紹介。 ・授業見学希望者に対して、年間を通じて対応を行う。
学校見学及び教育概要説明会 6月23日（月）小学部 6月24日（火）小学部 6月25日（水）中学部 6月27日（金）高等部	・来年度の本校小学部、中学部、高等部への入学、転入学を考慮に入れている児童生徒の保護者及び関係職員を対象に行う。 ・各学部の教育課程、授業、体験入学等についての説明や見学を実施する。
セルクルきほく学習会	・本校とその校区内の特別支援教育等に関わる職員が研修や情報交流を通して、お互いの連携を深めるとともに、共生社会の形成に向けて、共に考える機会として学習会を開催する。また、情報を交換・共有し、ネットワークを構築する。
体験入学 9月～10月	・来年度、入学、転入学を考慮に入れている幼児児童生徒が、該当学部への授業体験を通して、本校の教育活動について知り、体験する機会とする。
検査器具の購入・管理・貸出等	・検査器具の購入や管理を行い、依頼があれば校外への貸し出しも実施する。

イ 外部とのネットワークづくり

医療、福祉、保健、就労、教育等の各関係機関との連絡・調整機能の充実を図りながら、支援体制の構築に関わる活動を行っている。

和歌山市自立支援協議会、地域子ども支援部会等への参加	・障害があっても自立した日常生活や社会生活を過ごせることができるよう、各関係機関が連携して、支援の体制整備を図る。
海南・海草障害者地域自立支援協議会等への参加	・障害のある人の自立的な日常生活、また就労を含む社会生活について、各関係機関が連携して、支援の体制整備を図る。

(2) 校内支援としての活動

本校に在籍している児童生徒に対して、学習面・生活面・情緒面などに関してのさまざまな支援を実施している。

見え方・きこえ方に関する巡回相談 (年間に1回)	・見え方、きこえ方に関する教育的支援について、和歌山盲学校、和歌山ろう学校の相談担当職員から専門的な助言を受け、児童生徒の支援に活かす。
校内支援体制の整備	・学習面、生活面、情緒面を通して課題を捉え、適切な支援を協議し、支援内容を深める。 ・支援会議の実施、関係機関との連携、支援記録の作成・保管等。
発達検査等の活用 研修会の開催	・児童生徒の実態把握における客観的な指標として、発達検査等の結果を基に、個々の課題に対しての支援等を検討する。 ・発達検査等についての研修会を実施する。
愛徳分教室 復学・転学支援	・児童生徒が入院生活を終え、在籍していた学校に復学または転学する際、愛徳医療福祉センターと連携を図りながら、転出校との引き継ぎを行う。
個別の教育支援計画の活用	・個別の教育支援計画(つなぎ愛シート)の作成と活用に向けての推進や保管等を行う。
カウンセリングルーム開催	・スクールカウンセラーが実施するカウンセリングルームを開催し、児童生徒、保護者、教職員へカウンセリングやコンサルテーションを実施する。

18 安全教育

(1) 基本目標

日常生活のなかで命の尊さを知るとともに、自分の体調や健康に留意し、様々な事態に応じて危険を避け、安全に行動できる力を付ける。

(2) 指導目標

- ア 安全な環境づくりに努め、のびのびと健やかに学校生活を送れるようにする。
- イ 常に健康に注意し、自分のからだや健康についての学習を積み重ね、健康で豊かな生活を送れるようにする。
- ウ 日常の指導を通じて、身の回りにある危険について認識する力を育てる。
- エ 定期的に避難訓練を実施することにより、自然災害や緊急事態に対応できる判断力、行動力を身に付ける。

(3) 具体的な取組

- ア 交通安全教育
 - ・交通安全学習
 - ・下校指導
- イ 保健教育
 - ・食育指導
 - ・衛生指導
 - ・性教育
- ウ 防災教育
 - ・防災スクール
 - ・避難訓練
- エ 各種研修
 - ・応急手当研修、心肺蘇生法
 - ・救急救命訓練
 - ・不審者対応訓練
 - ・摂食指導

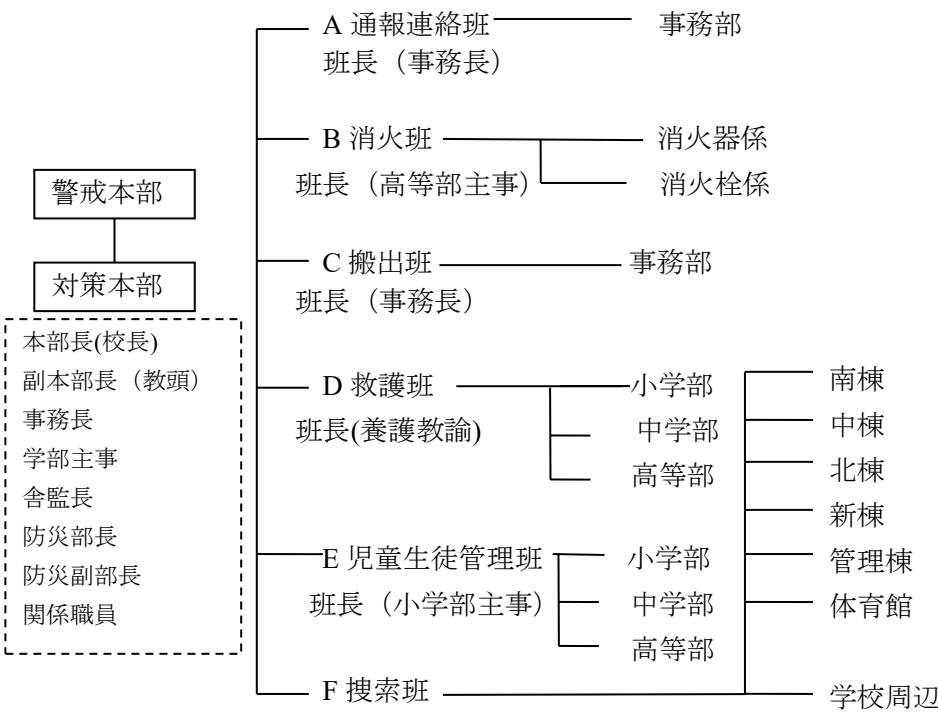
19 防災計画

(1) 目的

本計画は、学校における安全な環境を整備し、危険等の発生を未然に防ぐとともに、災害等の発生時に適切にかつ迅速に対処し被害を最小限に抑える。
危険事例等の発生後に心のケアや授業再開などの速やかな通常の学校生活の再開を図るとともに、危険事例等の再発防止を図る。

(2) 災害対策組織と業務分掌

前項目的を達成するために、次のとおり職員による業務分担を行う。ただし避難を最優先するものとする。



班長（中学部主事）

各班の役割

- A：本部長の指揮により直ちに全職員に急報するとともに、消防署、警察署、県教育委員会に電話速報する。
- B：班長は、直ちに班員を指揮して、火災の拡大の防止にあたるとともに、消防署の救援を待ち消火器及び消火栓により初期消火活動を行う。
- C：状況を見て緊急搬出物の持ち出しを行う。
- D：負傷者の救護に当たり、応急処置を施し、安全な場所へ輸送する他、児童生徒の状況等に応じて学校医に連絡し、医師の指示による措置をとる。
- E：避難してきた児童生徒の把握と管理にあたる。
- F：行方不明者がいるときは、担当箇所に向かい搜索する。

（３）風雨水害および地震による災害の場合

ア 児童生徒に対する処置

- （ア）午前６時３０分現在、和歌山市、海南市のどちらかの市に、暴風、大雨及び洪水のいずれかの警報が発表されている場合は、スクールバスの運行を中止し臨時休校とする。ただし、紀美野町にのみ警報が発令されている場合、学校は臨時休校とせず、課業する。（紀美野町在住児童生徒は、自宅待機）その他の警報についても、午前６時３０分現在で判断の上、臨時休業とする場合がある。その場合は、職員の連絡網を通じて児童生徒宅へ連絡する。
- （イ）児童生徒が在校中に警報が出た場合、保護者が迎えにくるまで児童生徒を保護する。（保護者に引き渡すことを原則とする。）

イ 職員の任務

- （ア）勤務時間中に暴風雨および地震のため災害が起こると予想された場合は、本部長の指示に従い適宜処置を行う。
- （イ）勤務時間外で必要とされる場合、本部長の指示を得て各部長および職員の緊急連絡網により非常伝達をする。
- （ウ）各部の任務は、火災の場合に準じる。

ウ 地震がおこった場合の注意事項

- （ア）地震の場合は、非常ベルは鳴らない。
- （イ）地震が発生したら、速やかに机の下に入る。机がない場合は、「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」場所に避難し、揺れがおさまるまで待つ。
- （ウ）教師は、地震発生後直ちにドアを開け避難経路を確保する。
- （エ）火気を使用している場合は、必ず消す。
- （オ）避難の際は、火災の避難経路に準ずるが、安全な経路を確認し外に出るようにする。ヘルメットなどがある場合は、頭を保護しながら、避難する。

（４）取組について

防災委員会による防災の推進

- ・校内の体制整備
- ・災害備蓄物資及び保管場所の確保
- ・課業中の対応及び引き渡し方法
- ・課業外（児童生徒職員）自宅にて地震、津波注意報・大津波警報が発表された場合の対応 等
- ・

20 校務分掌及び各種委員会等

校務分掌等	主 な 内 容
総務部	学校行事(入学・卒業) 福祉厚生 スクールバス 育成会活動(休日活動) 校庭緑化 美化発信 備品管理(破損物)発信 整美 営繕(自転車も含む) 安全(施設)
教育支援部	教育相談 就学相談 検査関係(活用や研修 他) 校内支援関係 学校見学 学習会等 校内ケース会・コーディネート ケース会窓口
進路指導部	進路指導 アフターケア 紀友会 福祉厚生(療育手帳関係)
教務部	学事 教育課程 庶務(児童生徒職員名簿) 教科書 教材 個別の指導計画 通知表等の整理と職員への発信
教育情報部	図書事務・読書・図書管理 学校ホームページ開設 広報(紀北だより)・展示・刊行物 情報管理(ネットワークを含む) 視聴覚機器の管理(備品・消耗品等の管理を含む)
生徒生活指導部	児童生徒会(各学部独自の活動) 全校集会 生活指導の充実 生徒指導における部としての運営 いじめ防止対策委員会の運営 いじめに対する部としての運営と人権教育部との連携
研究研修部	研究の推進(研究発表会) 校内発信(基礎研修)と連携 研究集録 資料の保管 研修計画
人権教育部	人権研修 人権教育の校内発信 交流教育 作品展示担当
保健体育部	体育施設の管理(プール) 学校行事(小中運動会、高体育祭) 課外クラブ 保健(学校保健委員) 感染症担当 性教育 給食(摂食・学校給食委員会・ワゴン管理等) 医療的ケア(医療的ケア検討委員会、緊急時対応委員会) 医療的ケア研修関係 食育教育
自立活動部	自立活動の指導計画及び指導内容に関すること 自立活動に関する実践研究 抽出自立活動
防災部	安全・防災(防災委員会) 学校安全計画 災害備蓄品に関すること 避難訓練・火元安全管理に関すること
ITC推進プロジェクト	ICTを活用した授業研究 端末管理に関すること ICTを活用した業務改善
舎務部	寄宿舎運営に係る連絡調整 入退舎検討委員会の運営 学舎連絡会議の運営 兼任舎監
初任者研修・基礎研修	初任者研修指導 若手教員指導 校内研修の推進
学部主事・学年主任等	学部・学年・ブロック運営に関すること 課題解決 連絡調整

委員会	構 成 メ ン バ ー
医療的ケア検討委員会	校長 教頭 保健部長(保健主事) 医療的ケア担当 養護教諭 学部主事 該当各担任 ブロック長 学校看護師 学校医
緊急時対応検討委員会	校長 教頭 保健体育部長(保健主事) 養護教諭 学部主事 該当各担任 ブロック長 学校看護師
労働安全衛生委員会	事務長 養護教諭 各学部1名 愛徳分教室1名 寄宿舎1名 (産業医)
ハラスメント防止委員会	教頭 人権教育部長 各学部1名 愛徳分教室1名 寄宿舎1名
入退舎検討委員会	校長 教頭 舎監 学部主事 養護教諭 寄宿舎指導員 学部代表舎監
学校保健安全委員会	校長 教頭 保健部長(保健主事) 養護教諭 学部主事 愛徳分教室主任
学校感染症対策委員会	校長 教頭 保健部長(保健主事) 養護教諭 学部主事 感染症担当 総務部長 各学部肢体不自由ブロック長 ※必要に応じて、人権教育部長 愛徳分教室主任
学校給食委員会 (食物アレルギー対応委員会) (再調理検討委員会)	校長 教頭 各学部主事 保健部長 給食主任 養護教諭 該当各担任 栄養教諭 給食調理員 自立活動部長(*再調理検討委員会のみ) ※必要に応じて参集
拡大教育課程検討委員会	校長 教頭 学部主事 教務部員 各学部代表
防災委員会	教頭 事務長 学部主事 防災部長(※必要に応じて各分掌部副部長、担当者が参集)
いじめ防止対策委員会	校長 教頭 学部主事 生徒生活指導部長 人権教育部長 養護教諭(※必要に応じて各学部から参集)
標準服検討委員会	教頭 学部主事 生徒生活指導部長 中学部担当 高等部担当

21 スクールバス運行経路(令和7年度)

1号車 紀美野コース	2号車 市内西コース	3号車 北国体道路コース	4号車 市内中央コース	5号車 市内中央②コース	6号車 市内北コース
学 校 ↓ 7:15発 紀美野町役場 ↓ 7:55 旧野上中 バス停 かめや前 ↓ 8:11 高畠バス停 ↓ 8:18 松源海南 阪井店前 ↓ 8:19 ローソン 海南且来店前 ↓ 8:29 学校着 8:50着	学 校 ↓ 7:25発 西高松 ↓ 8:10 中消防署南分署 手前 ↓ 8:17 紀三井寺 バス停 ↓ 8:22 アイリス眼科前 ↓ 8:33 智弁 三叉路 ↓ 8:37 学校着 8:50着	学 校 ↓ 7:15発 旧紀陽銀行 宮北支店前 ↓ 7:57 花山ママ クリニック ↓ 8:15 東部コミュニティー センター ↓ 8:30 学校着 8:50着	学 校 ↓ 7:10発 愛徳整肢園 ↓ 7:48 砂山保育園 ↓ 7:58 智辯三叉路 ↓ 8:30 学校着 8:50着	学 校 ↓ 7:00発 旧市民会館 ↓ 7:40 朝日生命 ↓ 7:52 鈴丸橋 ↓ 8:04 和歌山県JA ビル前 ↓ 8:10 石幸石材 ↓ 8:30 学校着 8:50着	学 校 ↓ 7:15発 旧有本バス停 ↓ 7:50 旧阪和駅バス停 ↓ 7:55 旧紀の川町 バス停 ↓ 8:00 朝日駐車場 ↓ 8:33 学校着 8:50着

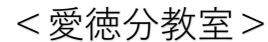
①上記は、登校時の経路です。

②下校のバスは、曜日により学校発の時刻が変わります。

月・木・金曜日	15:00
火曜日（小4年～高3年）	15:40
火曜日（小1年～小3年）	13:20
水曜日	14:10
給食のない日	11:40

7号車 南国体道路コース	8号車 市内東コース	9号車 北国体道路②コース	10号車 南国体道路②コース	11号車 海南コース	12号車 ジャンボタクシー
学 校 ↓ 7:04発 雄松町3丁目 ↓ 7:30 和歌公園 バス停 ↓ 7:55 エバグリーン 塩屋店前 ↓ 8:10 木の実や 宮前店前 ↓ 8:30 前田歯科前 ↓ 8:33 学校着 8:50着	学 校 ↓ 7:05発 旧有本バス停 ↓ 7:37 旧松島バス停 ↓ 7:45 インターホール前 ↓ 8:00 ロウス鳴神店 ↓ 8:25 学校着 8:50着	学 校 ↓ 7:17発 大門川橋 バス停 ↓ 8:00 旧紀陽銀行 宮北支店前 ↓ 8:07 ヤマイチ エステート前 ↓ 8:12 銀明堂薬局前 ↓ 8:25 学校着 8:50着	学 校 ↓ 7:05発 小雑賀 ↓ 7:30 新手平 ↓ 7:35 西浜バス停 ↓ 7:51 きのくに信金 秋葉山支店 ↓ 8:05 業務スーパー 和歌川店 ↓ 8:17 学校着 8:50着	学 校 ↓ 7:14発 ファーマーズ マーケット ↓ 7:35 日方南バス停 ↓ 7:47 海南高校前 バス停 ↓ 7:53 松源海南 阪井店前 ↓ 8:13 ローソン海南 且来店前 ↓ 8:25 学校着 8:50着	ろう学 校 ↓ 8:20 学校着 8:50着

<本校>



- JR和歌山駅より車で12分
- 南海和歌山駅より車で8分
- バスの場合
 - ・ 新和歌浦、紀三井寺団地、海南藤白、和歌浦口行き
 - ・ 堀止停留所下車西へ徒歩10分
- 車でお越しの方
 - ・ 国道42号線から小松原通り4丁目交差点を西へ。
大浦街道からは船津町交差点を東へ。
砂山交差点を南に。
- バスでお越しの方
 - ・ 堀止停留所からは、神明神社方面へ
花玉橋停留所からは紀陽銀行北側の通りを東へ

< 寄宿舍 >

- JR和歌山駅より車で12分
- 南海和歌山市駅より車で8分
- バスの場合
 - ・ 小松原5丁目停留所
西へ徒歩10分
 - ・ 土佐町3丁目停留所下
 - ・ 東へ徒歩2分

